

附 属 资 料

横浜市勢

平成20年1月1日現在

区分	面積 (km ²)	人口			世帯数	1 km ² 当たり	
		総数	男	女		人口	世帯数
平成15年	434.98	3,532,691	1,782,396	1,750,295	1,465,251	8,122	3,369
平成16年	434.98	3,559,867	1,793,899	1,765,968	1,489,727	8,184	3,425
平成17年	434.98	3,584,428	1,805,276	1,779,152	1,481,980	8,240	3,407
平成18年	434.98	3,606,797	1,814,833	1,791,964	1,507,645	8,292	3,466
平成19年	434.98	3,631,236	1,825,635	1,805,601	1,534,190	8,348	3,527
[H20.1.1現在]							
鶴見区	32.38	267,562	139,434	128,128	120,273	8,263	3,714
神奈川区	23.59	225,293	115,859	109,434	107,857	9,550	4,572
西区	6.98	89,349	45,025	44,324	44,929	12,801	6,437
中区	20.62	143,070	75,176	67,894	73,168	6,938	3,548
南区	12.63	195,747	97,580	98,167	89,911	15,499	7,119
港南区	19.86	221,611	110,506	111,105	87,718	11,159	4,417
保土ヶ谷区	21.81	205,374	102,914	102,460	88,046	9,417	4,037
旭区	32.78	248,335	123,218	125,117	98,334	7,576	3,000
磯子区	19.02	164,491	81,249	83,242	70,545	8,648	3,709
金沢区	30.68	211,083	104,738	106,345	85,969	6,880	2,802
港北区	31.37	321,387	163,689	157,698	148,147	10,245	4,723
緑区	25.42	173,536	86,441	87,095	68,975	6,827	2,713
青葉区	35.06	300,050	148,982	151,068	117,125	8,558	3,341
都筑区	27.88	188,519	95,467	93,052	70,285	6,762	2,521
戸塚区	35.70	269,928	134,753	135,175	106,409	7,561	2,981
栄区	18.55	124,466	61,287	63,179	49,464	6,710	2,667
泉区	23.56	154,368	76,267	78,101	57,943	6,552	2,459
瀬谷区	17.11	127,067	63,050	64,017	49,092	7,426	2,869

(注意) 面積については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、個々の数を合計しても必ずしも合計に一致しない。

表の平成19年及び各区のデータは、平成20年1月1日現在のものである。

(企画課)

条例・規則等の制定・改廃

平成19年

公布年月日 (施行・適用年月日)	種類・番号	題 名	制定・改廃の理由及び内容要旨
19.1.22 (19.1.24)	安全管理局達 第1号	横浜市消防職員の隔日勤務等に関する規程等の一部改正	指令課の勤務体制の変更に伴い、指令課の勤務種別を特定勤務2とするとともに、勤務時間、休憩時間を設定するための一部改正 (・横浜市消防職員の隔日勤務等に関する規程・横浜市消防職員の勤務時間等に関する規程・横浜市消防職員の勤務時間等の特例を定める規程)
19.1.31 (19.2.1)	安全管理局達 第2号	救急規程の一部改正	総務省消防庁への救急活動状況等の報告のオンライン化に伴い、救急活動記録票及び高度救命処置記録票を改めるための一部改正
19.2.23 (19.3.1)	安全管理局達 第3号	横浜市安全管理局応急手当普及啓発規程の一部改正	普通救命講習及び上級救命講習におけるカリキュラムの変更に伴う一部改正
19.2.23 (19.3.1)	安全管理局告示 第1号	消防法施行規則第12条第1項第8号八に規定する防火対象物の指定	消防法施行規則第12条第1項第8号八の規定に基づく、消防長が指定する総合操作盤を設置すべき防火対象物の指定のための制定
19.3.2 (19.4.1)	安全管理局達 第4号	横浜市消防職員待機宿舍規程の一部改正	待機宿舍の使用料の改定に伴う一部改正
19.3.22 (19.3.22)	安全管理局達 第5号	警防規程の一部改正について	佐江戸照明隊の廃止及び白山資機材搬送隊から佐江戸資機材搬送隊への配置換えに伴う一部改正
19.3.23	安全管理局公告 第2号	甲種防火管理講習等の開催	甲種防火管理講習等の開催日程について公告
19.3.28 (19.4.1)	安全管理局達 第6号	横浜市消防職員の勤務時間等に関する規程の一部改正	休憩時間の変更、休息時間の廃止に伴う一部改正
19.3.28 (19.4.1)	安全管理局達 第7号	横浜市安全管理局開発事務取扱規程の一部改正	開発事務における申請書様式の見直し、用語の整理等に伴う一部改正
19.3.29 (19.4.1)	安全管理局達 第8号	横浜市救急救命士養成所教育規程の一部改正	救急救命士養成教育内容の高度化に合わせた指導体制の強化、養成所長及び専任教員の役割の明確化等に伴う一部改正

19.3.30 (19.4.1)	横浜市規則 第37号	横浜市事務分掌規則等 の一部改正	組織機構の改革に伴い、指令課を司令課に改めること、企画課及び予防課の事務を見直したこと、昇任体系の見直しに伴い、部次長及び主任を廃止したこと、地方自治法の一部改正に伴う吏員制度が廃止されたこと等に伴う関係規則の一部改正 (・横浜市安全管理局組織規則・横浜市消防訓練センター規則・横浜ヘリポート設置規則・横浜市民防災センター設置規則)
19.3.30 (19.4.1)	安全管理局達 第9号	消防署組織規程及び横浜市安全管理局、消防署係設置規程の一部改正	組織機構の改革に伴い、指令課を司令課に改めること、企画課及び予防課の事務を見直したこと、昇任体系の見直しに伴い、部次長及び主任を廃止したこと、地方自治法の一部改正に伴う吏員制度が廃止されたこと等に伴う関係規則の一部改正
19.3.29 (19.4.1)	安全管理局達 第10号	横浜市消防沿革誌の調製に関する規程等の一部改正	組織機構の改革に伴い、指令課を司令課に改めること、企画課及び予防課の事務を見直したこと、昇任体系の見直しに伴い、部次長及び主任を廃止したこと、地方自治法の一部改正に伴う吏員制度が廃止されたこと等に伴う関係規則の一部改正並びに副士長制度の廃止に伴う規程の廃止 (・横浜市消防沿革誌の調製に関する規程・横浜市消防職員の職名に関する規程・横浜市消防職員のサービスの宣誓に関する規程・横浜市消防職員の隔日勤務等に関する規程・警防規程・消防災害通信取扱規程・横浜市消防職員動員規程・救急規程)
19.3.30 (19.4.1)	安全管理局達 第11号	横浜市安全管理局音楽隊運営規程の一部改正	音楽隊派遣審査会のあり方の見直し等に伴う一部改正
19.4.5	横浜市告示 第147号	甲種防火管理講習等受講手数料の収納事務の委託	甲種防火管理講習等の受講手数料の収納事務について告示
19.5.31 (19.5.31)	横浜市条例 第40号	横浜市消防職員賞じゅつ条例及び横浜市消防団員賞じゅつ条例の一部改正	地方公務員災害補償法等の一部改正に伴い、引用している条文を改めるための一部改正

19.5.31 (19.5.31)	横浜市規則 第71号	横浜市消防職員賞じゅつ 条例施行規則及び横浜 市消防団員賞じゅつ 条例施行規則の一部改 正	地方公務員災害補償法等の一部改正に伴い、 引用している条文を改めるための一部改正
19.9.28 (19.9.28)	横浜市条例 第58号	横浜市火災予防条例の 一部改正	建築基準法施行令の条の繰り上げに伴う一部 改正
19.10.29 (19.10.31)	安全管理局達 第12号	横浜市消防職員の勤 務時間等の特例を定め る規程の一部改正	港北消防署、栄消防署及び西消防署の一部に おける勤務体制の試行の実施に伴う一部改正
19.11.1 (19.11.19)	安全管理局達 第13号	本署、出張所受持区域 規程の一部改正	港北区における町区域の設定が行われること に伴う一部改正
19.11.1 (19.11.1)	安全管理局達 第14号	横浜市消防職員服務 規程及び横浜市消防職 員の勤務時間等に関する 規程の一部改正	庶務事務システムの導入に伴い、出勤簿及び 超過勤務等命令簿の取扱等を変更するための一 部改正
19.12.25 (20.10.1) (21.4.1)	横浜市条例 第60号	横浜市救急条例の制定	救命率の向上及び救急業務の公正性・公平性 を確保するため制定
19.12.25 (20.4.1)	横浜市条例 第68号	横浜市消防本部及び消 防署の設置等に関する 条例の一部改正	磯子消防署磯子水上消防出張所の廃止に伴う 一部改正

(企画課)

庁舎施設

現有消防庁舎の建設年月日

平成19年度

	竣工年月日	庁舎名	構造	摘要		竣工年月日	庁舎名	構造	摘要
1	S39. 3. 6	神奈川消防署	R C	総合庁舎	53	S56. 3.31	上永谷出張所	R C	
2	S43. 3.31	末吉出張所	"		54	S56. 3.31	新羽出張所	"	
3	S44. 8.20	長津田出張所	"	宿舍併設	55	S56. 3.31	岸谷出張所	"	
4	S44.10.20	保土ヶ谷消防署	"	総合庁舎	56	S56. 8.17	菅田出張所	"	
5	S44.10.20	安全管理局	"	"	57	S56.10.19	中瀬谷出張所	"	
6	S45. 3.31	本陣出張所	"		58	S57. 2.27	横浜ヘリポート	"	
7	S46. 3.31	富岡出張所	"	宿舍併設	59	S57. 3.31	さちが丘出張所	"	
8	S46. 3.31	都岡出張所	"	"	60	S57. 3.31	若葉台出張所	"	
9	S46. 3.31	金沢消防署	"	総合庁舎	61	S57. 3.31	釜利谷出張所	"	
10	S46. 5.31	瀬谷消防署	"	"	62	S57. 3.31	十日市場出張所	"	
11	S46. 7.15	栄消防署	"	地区センター併設	63	S57. 3.31	鳥が丘出張所	"	
12	S46. 9.30	旭消防署	"	総合庁舎	64	S58. 2. 4	岡津出張所	"	
13	S46. 9.30	港南消防署	"	"	65	S58. 3.31	横浜市民防災センター	S R C	
14	S47. 3.31	入江町出張所	"		66	S58. 3.31	日吉出張所	R C	
15	S47. 3.31	藤が丘出張所	"		67	S58. 3.31	阿久和出張所	"	
16	S47. 3.31	緑消防署	"	総合庁舎	68	S58. 3.31	東戸塚出張所	"	
17	S47. 7.17	西谷出張所	"		69	S58. 6.15	洋光台出張所	"	
18	S48. 3.31	元石川出張所	"		70	S59. 3.29	芹が谷出張所	"	
19	S49. 3.31	南消防署	"	総合庁舎	71	S59. 3.31	六浦出張所	"	
20	S49.10.21	戸塚消防署	"		72	S59. 3.31	山元町出張所	"	
21	S49.11.30	今井出張所	"		73	S59. 3.31	鴨志田出張所	"	
22	S50. 1. 9	大黒町出張所	"		74	S59. 3.31	白山出張所	"	
23	S50. 1.20	六ツ川出張所	"		75	S60. 3. 5	入船出張所	"	
24	S50. 2.14	豊田出張所	"		76	S60. 3.30	幸浦出張所	"	
25	S50. 3.31	中田出張所	"		77	S60. 3.30	市沢出張所	"	
26	S50. 3.31	鴨居出張所	"		78	S60. 3.30	鶴見水上出張所	"	
27	S51. 3.18	訓練センター	"		79	S61. 3.10	北方出張所	"	
28	S51. 3.31	野庭出張所	"		80	S61. 3.25	磯子水上出張所	"	H19年度末廃止
29	S51. 3.31	川和出張所	"		81	S61. 3.31	佐江戸出張所	"	
30	S51. 3.31	篠原出張所	"		82	S61. 5.31	通信司令センター	S R C	
31	S51. 6.22	中消防署	"		83	S62. 3.31	今宿出張所	R C	
32	S52. 3.31	寺尾出張所	"		84	S63. 3.31	鶴見消防署	S R C	総合庁舎
33	S52. 3.31	片倉出張所	"		85	S63. 3.31	すすき野出張所	R C	
34	S52. 3.31	港南台出張所	"		86	H 元. 3.31	能見台出張所	"	
35	S52. 9.30	西消防署	"		87	H 元. 3.31	大正出張所	"	
36	S53. 3.31	浅間町出張所	"		88	H 2. 3.31	深谷出張所	"	
37	S53. 3.31	東富岡出張所	"		89	H 3.12.11	小机出張所	"	
38	S53. 3.31	高田出張所	"		90	H 5. 1.31	緑園出張所	S R C	宿舍併設
39	S53. 9.25	下瀬谷出張所	"		91	H 5.11.19	杉田出張所	"	"
40	S53. 9.30	港北消防署	"	総合庁舎	92	H 6. 1.31	山下町出張所	"	研修所併設
41	S54. 3.31	吉田出張所	"		93	H 6. 3.31	権太坂出張所	"	宿舍併設
42	S54. 3.31	松見出張所	"		94	H 6. 9.30	青葉消防署	R C	
43	S54. 8.16	生麦出張所	"		95	H 7. 3.31	都筑消防署	S R C	総合庁舎
44	S54. 9.30	矢向出張所	"		96	H 8.10.15	泉消防署	"	"
45	S54. 9.30	山手出張所	"	H19年度末廃止	97	H 9. 1.31	境之谷出張所	"	宿舍併設
46	S55. 3.15	大岡出張所	"		98	H 9. 3.31	荏田出張所	R C	
47	S55. 3.31	上郷出張所	"		99	H11. 3.23	本牧和田出張所	S R C	宿舍併設
48	S55. 3.31	浦島出張所	"		100	H12. 2.29	仲台出張所	"	"
49	S55. 3.31	中村町出張所	"		101	H14. 1.31	磯子消防署	"	
50	S55. 3.31	綱島出張所	"		102	H15. 1.31	駒岡出張所	"	宿舍併設
51	S55. 9.30	南本宿出張所	"		103	H16.12.10	救急救命士養成所	R C	"
52	S56. 3.31	いずみ野出張所	"		104	H18.10.31	北山田出張所	"	"

(施設課)

消防庁舎の現況

平成19年度

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
				() : 所管外面積			() : 前庁舎データ
安 全 管 理 局 局 庁 舎 (保土ヶ谷区 総合庁舎)	保土ヶ谷区 川辺町 2番地の9	事 務 所	R C造地下1階 地上7階塔屋1 階建のうち4~7F	(4,260.47)	市民活力推進局 (9,829.45)	S44.10.20	S44.10.20 (S23. 3. 7)
		車庫・倉庫	R C造(消防棟) 2階塔屋1階建	(874.51)			
		事 務 所	"	(115.50)			
通 信 司 令 セ ン タ ー		事 務 所 司 令 室 機 械 室 駐 車 場	S R C造5階建	2,919.80		S61. 5.31	S62. 4. 1
			合 計	(5,250.48) 2,919.80	(9,829.45)		
消 防 職 員 待 機 宿 舎							
駒 岡 寮 (出張所 併設庁舎)	鶴見区 駒岡 2丁目18番8号	居 住	S R C造5階建 のうち3~5F	780.58	駒岡消防 出張所に含む	H15. 1.31 (S.46 3.31)	H15. 1.31 (S.46 7. 1)
境 之 谷 寮 (")	西区 境之谷 66番地	"	S R C造6階建 のうち3~6F	1,110.00	境之谷消防 出張所に含む	H 9. 1.31 (S.41 8. 9)	H 9. 2.26 (S.41 8.16)
本 牧 和 田 寮 (")	中区 本牧和田 34番地19号	"	"	1,428.12	本牧和田消防 出張所に含む	H11. 3.23	H11. 4. 1
中 村 町 寮 (救急救命士養 成所併設庁舎)	南区 中村町 4丁目270番地の3	"	R C造5階建 のうち3~5F	1,774.21	救急救命士 養成所に含む (耐震補強工事 : H16.12.10)	H16.12.10	H17. 1. 1 (横浜市立大学から所管接)
権 太 坂 寮 (出張所 併設庁舎)	保土ヶ谷区 権太坂 3丁目12番地6号	"	S R C造4階建 のうち2~4F	596.55	権太坂消防 出張所に含む	H 6. 3.31	H 6. 4. 5
都 岡 寮 (")	旭区 川井宿町 4番地の1	"	R C造5階建 のうち3~5F	457.92	都岡消防 出張所に含む (耐震補強工事 : H17. 3.31)	S47. 3.31	S47.7.5
杉 田 寮 (")	磯子区 中原 1丁目1番地9号	居 住	S R C造地下1 階地上6階建 のうち3~6F	716.14	杉田消防 出張所に含む	H 5.11.19	H 5.11.19
富 岡 寮 (")	金沢区 富岡西 1丁目74番地の2	"	R C造3階建 のうち2~3F	578.66	富岡消防 出張所に含む (耐震補強工事 : H11. 4.28)	S47. 3.31	S47. 8.5
長 津 田 寮 (")	緑区 長津田 2丁目34番地10号	"	R C造4階建 のうち3~4F	174.52	長津田消防 出張所に含む	S44. 8.20	S44.10.10
仲 町 台 寮 (")	都筑区 仲町台 5丁目1番46号	"	S R C造5階建 のうち3~5F	880.10	仲町台消防 出張所に含む	H12. 2.29	H12. 4. 1
北 山 田 寮 (")	都筑区 北山田 1丁目1番66号	"	R C造5階建 のうち3~5F	685.80	北山田消防 出張所に含む	H18.10.31	H18.11.15
緑 園 寮 (")	泉区 緑園 4丁目6番地の2	"	S R C造4階建 のうち3~4F	561.76	緑園消防 出張所に含む	H 5. 1.31	H 5. 2.10
			合 計	9,744.36			

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
消 防 訓 練 セ ン タ ー	戸塚区 深谷町 777番地	事 務 所	R C 造 3 階 建	1,926.36	54,093.58 (耐震補強工事：H10. 1.31)	S51. 3.18	S51. 4. 1
		宿 舎	〃	1,666.11		〃	
		機 械 室	R C 造 平 屋 建	99.20		〃	
		渡り廊下	鉄骨造平屋建	62.16		〃	
		浄化槽建家	R C 造 平 屋 建	70.00		〃	
		屋内訓練場	〃	1,328.06		S52. 1.22	
		渡り廊下	鉄骨造平屋建	154.80		〃	
		実務訓練棟	R C 造 平 屋 建	333.70		〃	
		変電室	〃	48.00		〃	
		器具庫	鉄骨造平屋建	58.80		〃	
		訓練棟	R C 造 地 下 1 階地上 8 階 建	625.67		S53. 3.27	
		補助訓練棟	鉄骨造16.55m			〃	
		汚水処理	鉄骨造平屋建	8.23		S53. 6.30	
		操作盤建物					
		機資材倉庫	鉄骨造平屋建	131.87			
		水難救助訓	〃	76.15		S54. 3.31	
		連場付属室					
		ポンプ室	R C 造 平 屋 建	39.00		〃	
		潜水訓練塔	鉄骨造6.00m			〃	
		鋼板プール	50m×15m			〃	
		消火訓練塔	鉄骨造12.00m			〃	
		会議室棟	鉄骨造平屋建	135.00		S57. 3.31	
		渡り廊下	〃	14.85		〃	
倉庫(ポン ベ保管用)	ブロック造平屋建	19.80	S62. 3.31				
倉庫	軽量鉄骨造	182.72	H元. 3.31				
車庫	〃	71.28	〃				
空気ポンベ 充てん施設	R C 造 2 階 建	13.76	H 2. 3.31				
		合 計	7,065.52	54,093.58			
横 浜 市 救 急 救 命 士 養 成 所	南区 中村町 4丁目270番地の3	消 防 施 設	R C 造 5 階 建 の うち 1 ～ 2 F	744.47	2,017.85 (横浜市立大学から所管換) (耐震補強工事：H16.12.30)	H16.12.10	H17. 3. 8
		合 計	744.47	2,017.85			
横 浜 ヘ リ ポ ー ト	金沢区 福浦 3丁目2番地	事 務 所	R C 造 2 階 建	1,324.83	28,800.00 港湾局 (299.68)	S57. 2.27	S57. 4. 1
		油 脂 庫	C B 造 平 屋 建	8.70		〃	
		給油施設付 属ポンプ室	R C 造 平 屋 建	9.75		H 9. 3.31	
		地下タンク	1万0×4基			〃	
		航空燈火 進入路 (トンネル)	6 4 基 9 2 灯 R C 造 21m			S56. 3.31	
		合 計	1,343.28	28,800.00			
横 浜 市 民 防 災 セ ン タ ー	神奈川区 沢渡 4番地の7	消 防 施 設	S R C 造 3 階 建 一部 R C 造 2 階 建	3,406.30	3,000.00	S58. 3.31	S58. 4. 1
		展 示 室					
		訓 練 室					
		研 修 室					
		備 蓄 室					
		そ の 他					
		油 脂 庫	R C 造 平 屋 建	7.42	〃		
		合 計	3,413.72	3,000.00			

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
鶴 見 消 防 署							
本署 (鶴見区 総合庁舎)	鶴見区 鶴見中央 3丁目20番1号	事 務 所	SRC造地下1階 地上6階塔屋1階 建のうち1～3F	(1,949.34)	市民活力推進局 (5,885.20)	S63. 3.31	S63. 4. 1 (S 3. 4. 1)
末吉	鶴見区 下末吉 2丁目1番3号	"	RC造2階建	439.37	445.76	S43. 3.31	S43. 4. 1
大黒町	鶴見区 大黒町 4番67号	事 務 所	RC造2階建	440.57	800.00	S50. 1. 9	S50. 1. 9
入船	鶴見区 弁天町 10番地の3	機 械 室 事 務 所	ブロック造平屋建 RC造2階建	7.48 479.43	1,224.22	S60. 3. 5	(S20. 9.15) S60. 3. 5 (S20. 4.15)
矢向	鶴見区 矢向 3丁目30番13号	"	"	411.15	641.73	S54. 9.30	S54.10. 1 (S20. 2. 1)
寺尾	鶴見区 北寺尾 4丁目24番15号	"	RC造平屋建	434.98	981.79	S52. 3.31	S52. 4. 1 (S22.12.13)
岸谷	鶴見区 岸谷 2丁目13番18号	"	RC造2階建	453.60	668.41	S56. 3.31	S56. 4. 1 (S25. 9.29)
生麦	鶴見区 鶴見中央 5丁目12番17号	"	"	420.02	1,322.37	S54. 8.16	S54. 8.16 (S26.10.24)
駒岡 (待機宿舎 併設庁舎)	鶴見区 駒岡 2丁目18番8号	"	SRC造5階建 のうち1～2F	620.74	755.11	H15. 1.31	H15. 2. 3 (S46. 3.31)
鶴見水上	鶴見区 大黒ふ頭 1番地	"	RC造2階建	501.44	港湾局 (1,000.01)	S60. 3.30	S60. 4.19 (S27. 9.27)
			合 計	(1,949.34) 4,208.78	(6,885.21) 6,839.39		
神 奈 川 消 防 署							
本署 (神奈川区 総合庁舎)	神奈川区 広台太田町 3番地の8	事 務 所	RC造地下1階 地上5階塔屋3階 建のうち1F・5F	(1,219.00)	市民活力推進局 (3,265.10)	S39. 3. 6	S39. 3. 6 (T15. 7. 1)
浦島	神奈川区 浦島町 363番地	"	RC造2階建	523.00	663.39	S55. 3.31	S55. 4.10
菅田	神奈川区 菅田町 2364番地の1	"	"	485.70	864.69	S56. 8.17	S56. 8.17 (S39. 4. 4)
入江町	神奈川区 入江 1丁目31番28号	"	RC造平屋建	460.65	985.38	S47. 3.31	S47. 4. 1 (S25. 6. 1)
片倉	神奈川区 片倉 1丁目3番1号	"	RC造2階建	438.08	1088.85	S52. 3.31	S52. 5.20
松見	神奈川区 松見町 1丁目40番地の40	プロパン庫 事 務 所	RC造平屋建 "	4.00 436.25	1,126.01	S54. 3.31	S54. 5.31
			合 計	(1,219.00) 2,347.68	(3,265.10) 4,728.32		
西 消 防 署							
本署	西区 戸部本町 50番地11号	事 務 所	RC造3階建	2,013.35	2,403.52	S52. 9.30	S52.10.12
浅間町	西区 浅間町 4丁目339番地の13	"	RC造2階建	532.75	759.27	(耐震補強工事: H10.10.31) S53. 3.31	(T 8. 9. 1) S53. 5.31 (T 9.11. 1)
境之谷 (待機宿舎 併設庁舎)	西区 境之谷 66番地	"	SRC造6階建 のうち1～2F	582.62	1,288.33	H 9. 1.31	H 9. 2.26 (S41. 8.16)
			合 計	3,128.72	4,451.12		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
中 消 防 署							
本 署	中区 山吹町 2番地の2	事 務 所	R C造6階建	2,497.98	798.05 (耐震補強工事：H10. 7. 31)	S51. 6. 22 (T 8. 9. 1)	S51. 6. 22 (T 8. 9. 1)
山 手	中区 山手町 247番地の2	"	R C造2階建	371.73	632.34 (廃止：H20. 3. 31)	S54. 9. 30 (S28. 5. 2)	S54. 11. 26 (S28. 5. 2)
山 下 町 (研修センター 併設庁舎)	中区 山下町 72番地の1	"	S R C造地下2階 地上7階建のうち B1～2F	1,083.61	758.63	H 6. 1. 31	H 6. 2. 28 (T 8. 9. 1) (S20. 9. 15)
北 方	中区 本牧十二天 2番29号	"	R C造2階建	504.38	1,000.01	S61. 3. 10	S61. 3. 10 (T 9. 11. 10)
山 元 町	中区 山元町 5丁目219番地の5	"	"	483.90	1,003.99	S59. 3. 31	S59. 4. 6
本 牧 和 田 (待機宿舎 併設庁舎)	中区 本牧和田 34番12号	"	S R C造6階建 のうち1～2F	998.17	1,499.97	H11. 3. 23	H11. 4. 1
			合 計	5,939.77	5,692.99		
南 消 防 署							
本 署 (南区 総合庁舎)	南区 花之木町 3丁目48番地の1	事 務 所	R C造地下1階 地上6階建のうち 1～4F	(1,274.12)	市民活力推進局 (4,399.57)	S49. 3. 31	S49. 4. 1 (T15. 7. 1)
中 村 町	南区 中村町 4丁目274番地の8	旧 公 舎 事 務 所	R C造2階建 R C造平屋建	(105.12) 449.60	1,778.01	" S55. 3. 31	S55. 4. 15 (T15. 9. 19)
		空 気 ポ ン ベ 庫 空 気 ポ ン ベ 充 て ん 施 設	" "	33.00 15.50		S61. 1. 14 H15. 3. 31	H15. 3. 31
大 岡	南区 大岡 4丁目7番15号	事 務 所	R C造2階建	555.69	1,249.15 (耐震補強工事：H12. 11. 30)	S55. 3. 15	S55. 4. 1 (S10. 4. 1)
六 ツ 川	南区 六ツ川 1丁目693番地の1	"	"	561.92	1,043.64 (耐震補強工事：H15. 3. 14) (耐震補強工事：H14. 3. 15)	S50. 1. 20 S50. 1. 20	S50. 1. 20
			合 計	(1,379.24) 1,615.71	(4,399.57) 4,070.80		
港 南 消 防 署							
本 署 (港南区 総合庁舎)	港南区 港南中央通 10番1号	事 務 所	R C造地下1階 地上6階塔屋1階 のうち1～3F	(1,047.33)	市民活力推進局 (3,668.56)	S46. 9. 30	S46. 10. 25
芹 が 谷	港南区 芹が谷 1丁目11番15号	旧 公 舎 事 務 所	R C造2階建	(80.40) 482.79	1,004.56	S59. 3. 29	S59. 3. 30 (S40. 6. 16)
野 庭	港南区 野庭町 638番地の2	"	"	436.35	1,005.79	S51. 3. 31	S51. 4. 16
港 南 台	港南区 港南台 8丁目4番12号	"	"	437.86	3,324.86	S52. 3. 31	S52. 6. 15
上 永 谷	港南区 丸山台 3丁目6番1号	空 気 ポ ン ベ 充 て ん 施 設 事 務 所	R C造平屋建 "	55.00 451.26	1,055.13	H 2. 3. 31 S56. 3. 31	S56. 5. 25
			合 計	(1,127.73) 1,863.26	(3,668.56) 6,390.34		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
保 土 ヶ 谷 消 防 署 本 署 (保土ヶ谷区 総合庁舎)	保土ヶ谷区 川辺町 2番地の9	事 務 所	R C 造(消防棟) 2階建塔屋1階建	(1,142.65)	市民活力推進局 (安全管理局と 同じ) (耐震補強工事：H10. 6.30)	S44.10.20	S44.10.20 (S18.12.24)
		旧 公 舎	〃	(165.00)			
西 谷	保土ヶ谷区 西谷町 742番地	事 務 所	R C 造平屋建	434.26	1,450.46	S47. 7.17	S47. 7.28
今 井	保土ヶ谷区 今井町 17番地の6	プロパン庫	ブロック造平屋建	4.35			
本 陣 権 太 坂 (待機宿舎 併設庁舎)	保土ヶ谷区 保土ヶ谷町 1丁目77番地 保土ヶ谷区 権太坂 3丁目12番6号	事 務 所	〃	462.11	942.00	S49.11.30	S49.12.10
		〃	S R C 造4階建 のうち1～2F	552.17			
				1.98	(耐震補強工事：H10. 5.31)		
				502.14	502.14	S45. 3.31	S45. 4. 1 (S18. 2. 9)
				534.99	1,048.33	H 6. 3.31	H 6. 4. 5
			合 計	(1,307.65) 1,989.86	3,942.93		
旭 消 防 署 本 署 (旭区 総合庁舎)	旭区 鶴ヶ峰 1丁目4番地の12	事 務 所	R C 造6階塔屋 1階建のうち 1～3F	(1,177.70)	市民活力推進局 (5,626.62) (耐震補強工事：H15. 3.31)	S46. 9.30	S46.10. 1
		〃	R C 造2階建	479.68			
さ ち が 丘	旭区 さちが丘 45番地の2	〃	R C 造5階建 のうち1～2F	693.94	1,062.61	S46. 3.31	S46. 5.28
都 岡 (待機宿舎 併設庁舎)	旭区 川井宿町 4番地の1	〃	R C 造平屋建	450.91	978.50	S55. 9.30	S55.10.21
南 本 宿	旭区 南本宿町 26番地の7	〃	R C 造2階建	487.53	969.85	S57. 3.31	S57. 4.24
若 葉 台	旭区 若葉台 3丁目1番1号	〃	〃	484.76	1,030.64	S60. 3.30	S60. 4.25
市 沢	旭区 市沢町 335番地の13	〃	〃	481.72		S62. 3.31	S62. 4.20
今 宿	旭区 今宿 2丁目33番10号	〃	〃				
			合 計	(1,177.70) 3,078.54	(5,626.62) 6,468.76		
磯 子 消 防 署 本 署 (待機宿舎 併設庁舎)	磯子区 磯子 2丁目1番3号 磯子区 中原 1丁目1番9号	事 務 所	S R C 造4階建	2,496.06	1,640.75	H14. 1.31	H14. 2. 4 (S32.11.12)
		〃	S R C 造地下1階 地上6階建のうち 1～2F	511.09			
杉 田 (待機宿舎 併設庁舎)	磯子区 杉田 5丁目31番22号	〃	R C 造2階建	452.14	841.03	S61. 3.25	S61. 3.25
磯 子 水 上	磯子区 杉田 5丁目31番22号	〃	〃	476.52	(廃止：H20. 3.31)	(S38. 3. 5)	
洋 光 台	磯子区 洋光台 3丁目37番41号	〃	〃		1,059.20	S58. 6.15	S58. 6.23
			合 計	3,935.81	4,102.96		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
金 沢 消 防 署							
本 署 (金沢区 総合庁舎)	金沢区 泥亀 2丁目9番1号	事 務 所	R C造4階塔屋 2階建のうち 1～3F	(885.58)	市民活力推進局 (6,483.06)	S46. 3.31	S46. 4.26 (S27.10. 1)
東 富 岡	金沢区 富岡東 3丁目16番17号	事 務 所	R C造2階建	441.54	917.03	S53. 3.31	S53. 4. 1 (S20.12. 7)
六 浦	金沢区 六浦 5丁目8番12号	"	"	480.61	670.93	S59. 3.31	S59. 4. 3 (S21. 7. 5)
富 岡 (待機宿舎 併設庁舎)	金沢区 富岡西 1丁目74番2号	"	R C造4階建 のうち1～2F	476.39	1,001.08 (待機宿舎増築：S47. 3.31) (耐震補強工事：H11. 4.28)	S46. 3.31	S46. 4.30
釜 利 谷	金沢区 釜利谷南 3丁目22番2号	"	R C造2階建	479.98	1,084.73	S57. 3.31	S57. 4.21
幸 浦	金沢区 幸浦 2丁目1番の5	"	"	481.95	1,000.01	S60. 3.30	S60. 4. 5
能 見 台	金沢区 能見台 5丁目28番1号	"	"	478.74	1,234.64	H元. 3.31	H元. 4. 5
			合 計	(885.58) 2,839.21	(6,483.06) 5,908.42		
港 北 消 防 署							
本 署 (港北区 総合庁舎)	港北区 大豆戸町 26番地の1	事 務 所	R C造地下1階 地上4階建のうち 1～2F	(1,685.52)	市民活力推進局 (9,562.02)	S53. 9.30	S53. 9.30 (S26. 7.16)
綱 島	港北区 綱島西 3丁目3番9号	"	R C造2階建	453.33	707.43	S55. 3.31	S55. 4. 1 (S37. 6.20)
日 吉	港北区 箕輪町 1丁目1番8号	"	"	481.84	745.35	S58. 3.31	S58. 4.11 (S38. 8.11)
篠 原	港北区 篠原町 1312番地の2	"	R C造平屋建	434.67	1,322.34 (耐震補強工事：H14. 3.15)	S51. 3.31	S51. 4.30
高 田	港北区 高田西 2丁目21番の1	"	"	459.81	1,098.57	S53. 3.31	S53. 5.25
新 羽	港北区 新羽町 2357番地の2	"	"	453.62	1,000.02	S56. 3.31	S56. 4.25
小 机	港北区 小机町 1711番地の1	"	R C造2階建	504.96	990.35	H 3.12.11	H 3.12.12
			合 計	(1,685.52) 2,788.23	(9,562.02) 5,864.06		
緑 消 防 署							
本 署 (緑区 総合庁舎)	緑区 寺山町 118番地	事 務 所	R C造地下1階 地上4階塔屋1階 のうちB1～1F	(1,059.47)	市民活力推進局 (7,265.01)	S47. 3.31	S47. 7.28
十 日 市 場	緑区 十日市場町 816番地の7	旧 公 舎 事 務 所 空 気 ボンベ 充てん施設	R C造2階建 R C造2階建 R C造平屋建	(92.61) 482.39 52.26	1,154.80	(S47. 3.31) S57. 3.31 S63. 2. 5	S57. 5.24
長 津 田 (待機宿舎 併設庁舎)	緑区 長津田 2丁目34番10号	事 務 所	R C造4階建 のうち1～2F	383.95	420.76	S44. 8.20	S44. 8.20 (S20. 8. 1)
鴨 居	緑区 鴨居 1丁目3番21号	"	R C造2階建	436.35	1,497.06	S50. 3.31	S50. 5. 9
白 山	緑区 白山 4丁目73番2号	プロパン庫 事 務 所	ブロック造平屋建 R C造2階建	3.04 482.39	1,097.98	" S59. 3.31	S59. 4.11
			合 計	(1,152.08) 1,840.38	(7,265.01) 4,170.60		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
青 葉 消 防 署							
本 署	青葉区 市ヶ尾町 33番地の1	事 務 所	R C造3階建	2,373.83 (用水路, 国有地)	2,424.58 75.42)	H 6. 9. 30	H 6. 11. 6
藤 が 丘	青葉区 藤が丘 1丁目14番地	"	R C造2階建	440.08	1,000.09	S47. 3. 31	S47. 5. 30
元 石 川	青葉区 美しが丘 4丁目12番地	"	"	441.44	1,000.00	S48. 3. 31	S48. 6. 28
鴨 志 田	青葉区 鴨志田町 823番地	"	"	482.52	1,006.57	S59. 3. 31	S59. 4. 21
す す き 野	青葉区 すすき野 1丁目1番7号	"	"	485.60	1,000.00	S63. 3. 31	S63. 4. 14
荏 田	青葉区 荏田町 491番地の9	"	"	580.00	1,172.00	H 9. 3. 31	H 9. 5. 14
			合 計	4,803.47	(75.42) 7,603.24		
都 筑 消 防 署							
本 署 (都筑区 総合庁舎)	都筑区 茅ヶ崎中央 32番地の1	事 務 所	S R C造地下1階 地上6階建のうち 1～2F	(3,195.69)	市民活力推進局 (18,896.68)	H 7. 3. 31	H 7. 4. 24
川 和	都筑区 川和町 1221番地	" プロパン庫	R C造2階建 C B造平屋建	438.50 7.43	660.37	S51. 3. 31 "	S51. 4. 11 (S14. 11. 24)
佐 江 戸	都筑区 佐江戸町 366番地の4	事 務 所	R C造2階建	482.07	952.55	S61. 3. 31	S61. 4. 8)
仲 町 台 (待機宿舎 併設庁舎)	都筑区 仲町台 5丁目1番46号	"	S R C造5階建 のうち1～2F	621.85	988.05	H12. 2. 29	H12. 3. 21
北 山 田 (待機宿舎 併設庁舎)	都筑区 北山田 1丁目1番66号	"	"	743.77	1,168.26	H18. 10. 31	H18. 11. 15
			合 計	(3,195.69)	(18,896.68) 3,769.23		
戸 塚 消 防 署							
本 署	戸塚区 戸塚町 4144番地	事 務 所	R C造3階建	1,604.59	2,068.22 (耐震補強工事 : H11. 2. 28)	S49. 10. 21 (S23. 3. 7)	S49. 11. 8 (H元. 4. 1)
大 正	戸塚区 原宿 3丁目60番1号	"	R C造2階建	481.04	498.80	H元. 3. 31	(S23. 9. 6)
吉 田	戸塚区 吉田町 947番地の3	"	R C造平屋建	434.88	1,230.08	S54. 3. 31	S54. 5. 10
鳥 が 丘	戸塚区 鳥が丘 52番地の1	"	R C造2階建	478.89	997.90	S57. 3. 31	S57. 4. 27
東 戸 塚	戸塚区 川上町 87番地の10	"	"	481.00	939.71	S58. 3. 31	S58. 6. 11
深 谷	戸塚区 深谷町 1432番地の2	"	"	489.98	999.96	H 2. 3. 31	H 2. 4. 26
			合 計	3,970.38	6,734.67		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
栄 消 防 署							
本 署 (地区センター 併設)	栄区 桂町 301番地	事 務 所	併設庁舎RC造 5階建のうち 1～3F	1,494.42	市民活力推進局 (2,547.59)	S46. 7. 15	S46. 8. 2
豊 田	栄区 桂町 1443番地	”	RC造2階建	440.05	1,256.00	S50. 2. 14	S50. 2. 27
上 郷	栄区 桂町 1431番地の1	プロパン庫 事 務 所	ブロック造平屋建 RC造2階建	3.15 448.66	(耐震補強工事：H12.12.15)	S55. 3. 31	S55. 3. 19
			合 計	2,386.28	(2,547.59) 2,216.90		
泉 消 防 署							
本 署 (泉区 総合庁舎)	泉区 和泉町 4636番地の2	事 務 所	SRC造地下1階 地上4階建のうち 1～4F	(1,976.00)	市民活力推進局 (12,893.75)	H 8.10.15	H 8.11.11 (S63. 4. 1)
岡 津	泉区 岡津町 187番地の1	”	RC造2階建	479.34	1,000.12	S58. 2. 4	S58. 2. 9 (S45. 9.16)
中 田	泉区 中田北 3丁目1番地の1	”	”	436.35	1,205.99	S50. 3. 31	S50. 5. 7
い ず み 野	泉区 和泉町 6212番地の13	プロパン庫 事 務 所	RC造平屋建 ”	3.04 452.51	1,000.01	S56. 3. 31	S56. 4. 1
緑 園 (待機宿舎 併設庁舎)	泉区 緑園 4丁目6番地の2	”	SRC造4階建 のうち1～2F	513.01	1,000.00	H 5. 1. 31	H 5. 2. 10
			合 計	(1,976.00) 1,884.25	(12,893.75) 4,206.12		
瀬 谷 消 防 署							
本 署 (瀬谷区 総合庁舎)	瀬谷区 二ツ橋町 190番地	事 務 所	RC造地下1階 地上3階塔屋1階 建のうち1F	(949.40)	市民活力推進局 (7,887.34)	S46. 5. 31	S46. 6. 14
中 瀬 谷	瀬谷区 中屋敷 2丁目16番地の15	”	RC造2階建	452.11	1,058.01	S56. 10. 19	S56. 10. 20 (S24. 5.12)
下 瀬 谷	瀬谷区 下瀬谷 2丁目44番地の19	”	”	455.85	1,167.22	S53. 9. 25	S53. 10. 2
阿 久 和	瀬谷区 阿久和東 2丁目8番地の29	”	”	484.30	1,066.34	(耐震補強工事：H15. 1. 17) S58. 3. 31	S58. 4. 28
			合 計	(949.40) 1,392.26	(7,887.34) 3,291.57		
			総 計	(23,255.41) 77,537.36	(99,585.06) 178,363.85		

(施設課)

消防団施設の現況（市有建物及び市有地）

平成19年度

名 称	所 在 地	建 物		土地(m ²)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積(m ²)		
鶴見 第1分団 第1班	鶴見区 大東町 12-1	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第2分団 第1班	" 小野町 68	S造平家	9.99		S50.10.31
" 第4分団 第1班	" 生麦 4-786-2			211.58	H12.11. 1
" 第5分団 第1班	" 鶴見中央 四丁目28-6			76.03	S53. 3. 2
" 第6分団 第1班	" 平安町 2-9-1	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第9分団 第1班	" 矢向町 1-14-28	S造平家	7.29		S50. 3.31
神奈川 第1分団 第1班	神奈川区 子安通 2-225	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第2分団 第3班	" 東神奈川 二丁目23-11	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第2分団 第8班	" 栄町 3-13			74.85	S55. 7. 1
" 第3分団 第2班	" 松本町 5-40	S造平家	9.99		S51. 3.31
" 第4分団 第1班	" 羽沢町 1001-4	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第4分団 第2班	" 菅田町 2408-1			58.11	H12. 2. 4
" 第4分団 第3班	" 菅田町 865	S造平家	19.98	71.12	S58. 1.31
" 第6分団 第3班	" 白幡上町 213	S造平家	7.29	79.36	S50. 3.31
" 第8分団 第1班	" 七島町 153	S造平家	7.29		S48. 3.31
西 第1分団 第2班	西 区 西戸部町 二丁目158-15			90.36	H14.12.12
" 第2分団 第1班	" 西前町 2-47	S造平家	9.99	21.82	S54. 2.28
" 第2分団 第2班	" 浜松町 9	S造平家	9.99		S51. 3.31
" 第3分団 第4班	" 浅間町 3-177-2			49.58	S50. 3.31
" 第3分団 第4班	" 南浅間町 19-14	CB造平家	16.98	15.37	S41. 6.30
伊勢佐木 第1分団 第5班	中 区 日の出町 二丁目120-2			17.35	H 6.11. 4
" 第2分団 第2・3班	" 弥生町 3-29	B造平家	21.87		S50. 3.31
加賀町 第4分団 第1・2班	中 区 新山下 二丁目3-338			83.94	H15.11.12
山手 第1分団 第3班	中 区 本牧町 2-352			20.61	S48. 4. 3
" 第3分団 第1班	" 麦田町 1-26-1	S造平家	9.99		S53. 8. 2
" 第5分団 第3班	" 根岸町 2-85	S造平家	7.29		S48. 3.31
" 第6分団 第4・5班	" 間門町 2-385	S造平家	9.99		S52. 3.31
寿 第2分団 第1班	南 区 高根町 4-35	S造平家	87.12		H 3. 2.22
" 第2分団 第2班	" 永楽町 2-22	B造平家	17.01		S50. 3.31
" 第2分団 第3班	" 中村町 2-120-4			150.14	S33. 5.20
大岡 第1分団 第3班	南 区 永田北 一丁目16-46	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第2分団 第1班	" 大橋町 三丁目52-2			286.92	H14. 4. 1
" 第2分団 第3班	" 大岡 一丁目3-1	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第3分団 第3班	" 永田東 一丁目1536-60			65.27	H15. 7.31
港南 第1分団 第2班	港南区 下永谷 3-2729-5			174.52	H12. 5.26
" 第1分団 第3班	" 東永谷 1-1364-136			102.59	H14.11.11
" 第2分団 第2班	" 上大岡西 二丁目464-1	S造平家	9.99		S57. 3.31
" "	" 上大岡東 二丁目41-7	S造平家	9.99		S50.10.31
" "	" 上大岡西 三丁目15	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第4分団 第3班	" 港南台 八丁目39	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第5分団 第2班	" 野庭町 224	S造平家	9.99		S53. 3.20
保土ヶ谷 第2分団 第9班	保土ヶ谷区 天王町 1-8-12	S造平家	9.99		S54. 2.28
" 第3分団 第3班	" 常磐台 282	S造平家	9.99	87.65	S53. 3.31
" 第4分団 第3班	" 上菅田町 1566	S造平家	9.99		S52. 3.31
旭 第1分団 第6班	旭 区 四季美台 17-3	S造平家	7.29	55.71	S50. 3.31
" 第2分団 第3班	" 三反田町 159-1	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第3分団 第2班	" 今宿東町 659-4	S造平家	16.20	46.22	S55.12.19
" 第3分団 第2班	" 今宿西町 485	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第3分団 第4班	" 上白根町 1569-15			45.85	H19. 7.13
" 第4分団 第5班	" 下川井町 2107			175.04	H19.10.23

名 称	所 在 地	建 物		土地(m ²)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積(m ²)		
" 第5分団 第1班	" 鶴ヶ峰 二丁目99-33	S造平家	9.99		S51. 3.31
" 第5分団 第2・3班	" 西川島町 70-6	S造平家	9.99		S54. 1.31
磯子 第1分団 第4班 第5班	磯子区 坂下町 3-22	RC造2階建 の一部	10.64		H 5.12.20
" 第2分団 第1班	" 岡村 一丁目14	S造平家	19.98	39.15	S59. 2. 1
" 第2分団 第2班	" 丸山 二丁目1-1	S造平家	19.98		S55.12.30
" 第2分団 第4班	" 滝頭 三丁目1-42	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第5分団 第1班	" 森 二丁目19-12			62.58	S50. 1.23
" 第7分団 第2班	" 杉田 四丁目4-8	S造平家	32.14		H14. 5.28
" 第8分団 第3班	" 峰町 623	S造平家	9.99		S54. 2. 8
第8分団 第5班	" 水取沢町 221	S造平家	9.99		S51. 3.31
" 第9分団 第3班	" 洋光台 三丁目4	S造平家	19.98		S55. 3.31
金沢 第1分団 第1班	金沢区 富岡東 五丁目13-20			61.15	S40. 3.16
" 第2分団 第1・2班	" 柴町 355-8	S造2階	126.03	166.00	H 2. 3.19
" 第2分団 第4班	" 柴町 214	S造平家	9.99		S50.10.31
" 第3分団 第2班	" 谷津町 224-2	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第4分団 第2班	" 寺前 一丁目44	S造平家	19.98		S57. 3.31
" 第5分団 第2班	" 洲崎町 8	S造平家	19.98		S58. 1.31
" 第5分団 第3班	" 野島町 476-11			76.95	S63. 2. 1
" 第7分団 第2班	" 六浦 三丁目19-15	S造平家	19.98		S55. 3.31
" 第7分団 第6班	" 六浦東 一丁目38-36	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第7分団 第6班	" 六浦東 一丁目25-1	S造平家	9.98		S55.12.30
港北 第1分団 第1班	港北区 岸根町 728	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第1分団 第2班	" 鳥山町 190-4			60.53	S55. 8. 7
" 第1分団 第3班	" 小机町 1521-1			41.49	H 6. 9.20
" 第2分団 第2班	" 富士塚 二丁目1971-4			30.80	H 9. 2.10
" 第2分団 第3班	" 篠原東 三丁目14-56			97.32	H 6. 2.23
" 第3分団 第3班	" 菊名 三丁目16-1	S造平家	7.29		S48. 3.31
" 第5分団 第2班	" 箕輪町 336-2,336-3			47.68	H 9. 5.16
" 第6分団 第2班	" 新羽町 1531-3			16.43	S56. 4. 6
" 第6分団 第6班	" 新羽町 2064-7			105.42	S56. 4.16
" 第7分団 第6班	" 新羽町 1868-4			90.77	H 8. 8. 1
緑 第2分団 第1班	緑区 寺山町 178-2			37.52	S47. 5.10
" 第2分団 第3班	" 三保町 2570-13	S造平家	19.98	133.63	S59. 2. 1
" 第3分団 第2班	" 青砥町 1131-5			87.95	H元. 1.21
" 第4分団 第1班	" 長津田町 5128-1ほか	木造平家	55.88		H14. 4. 1
青葉 第1分団 第1班	青葉区 美しが丘 二丁目7-10			69.14	H 3. 4.18
" 第1分団 第3班	" 荻子田 二丁目8-20			44.26	S59. 8. 2
" 第1分団 第10班	" すずき野 二丁目10-9	S造平家	16.47	21.31	S57. 3.31
" 第2分団 第4班	" 市ヶ尾町 16-6	S造平家	14.58		S55. 3.31
" 第2分団 第7班	" 鴨志田町 296	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第2分団 第8班	" 柿の木台 45-3			88.00	S49. 9.17
都筑 第1分団 第2班	都筑区 川和町 2338	S造平家	7.29		S50. 3.31
" 第1分団 第3班	" 佐江戸町 798			59.36	S51. 4. 5
" 第2分団 第3班	" 川向町 183-6	S造平家	29.97	6.93	S58. 1.31
" 第3分団 第3班	" 大圃町 477-2	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第3分団 第4班	" 中川 五丁目30	S造平家	19.98		S48. 3.31
" 第4分団 第2班	" 北山田 一丁目3-9			56.46	H 5.10. 6
戸塚 第1分団 第3班	戸塚区 戸塚町 3035-3			49.95	S60. 9.11
" 第1分団 第6班	" 矢部町 1241-2	S造平家	19.98		S57. 3.31
" 第1分団 第6班	" 上矢部町 3229	S造平家	9.99		S54. 2.28

名 称	所 在 地	建 物		土地(m ²)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積(m ²)		
" 第3分団 第1班	" 平戸 二丁目34	S造平家	19.98		S55. 3.31
" 第3分団 第2班	" 平戸 五丁目16	S造平家	9.99		S54. 2.28
" 第3分団 第3班	" 平戸町 377	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第3分団 第7班	" 川上町 185-3	S造平家	9.99		S55. 3.31
" 第3分団 第9班	" 秋葉町 300-5	S造平家	7.29		S48. 3.31
" 第4分団 第1・2班	" 上矢部町 1279-3			253.58	H18. 2.23
" 第5分団 第3班	" 俣野町 1270	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第6分団 第3班	" 影取町 88	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第7分団 第1班	" 上倉田町 1104-3	S造平家	7.29		S50. 3.31
栄 第1分団 第1班	栄 区 長沼町 540-3	木造2階	36.76	55.93	H 7. 1.27
" 第3分団 第1班	" 笠間町 494	S造平家	19.98		S58. 1.31
泉 第1分団 第1班	泉 区 中田北 2-2048-1	S造平家	19.98		S57. 3.31
" 第1分団 第3班	" 中田南 2-35-13	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第2分団 第2班	" 岡津町 58-1			82.39	H 7. 9. 7
" 第2分団 第4班	" 新橋町 1389-4	S造平家	9.99		S55. 7.31
" 第3分団 第3班	" 和泉町 3694-5			76.96	H16. 5.26
" 第3分団 第4班	" 和泉町 2939	S造平家	9.99		S52. 3.31
" 第4分団 第2班	" 上飯田町 2369	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第4分団 第3班	" 上飯田町 4580	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第5分団 第1班	" 和泉町 1327	S造平家	19.98		S55. 3.31
瀬谷 第1分団 第4班	瀬谷 区 三ツ境 121-10			88.28	S59. 3.27
" 第2分団 第2班	" 北新 26-21	S造平家	7.29		S48. 3.31
" 第3分団 第2班	" 瀬谷町 4311	S造平家	19.98		S55. 3.31
" 第3分団 第3班	" 本郷 一丁目18-7	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第3分団 第3班	" 本郷 三丁目47-4	S造平家	9.99		S54. 2.28
" 第4分団 第1班	" 竹村町 14-2	S造平家	7.29		S49. 3.31
" 第4分団 第3班	" 五貫目町 25-4	S造平家	9.99		S53. 3.20
" 第4分団 第3班	" 五貫目町 19-45			70.45	H 6. 2.18
面 積 合 計	(1 2 8 か所)	(8 8 棟)	1,434.74	(53か所) 4,238.36	

(施設課)

防火水槽占有地の現況

平成19年度

所在地		面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
鶴見区	上末吉二丁目8	154.27	S48. 5.19	譲	与
"	北寺尾四丁目99-87	93.58	S60. 3.30	帰	属
"	獅子ヶ谷町 1019-43	54.04	H12.11. 1	寄	付
"	獅子ヶ谷町 1073-46	30.24	S53. 3. 2	所	管 換
"	獅子ヶ谷町 1087-20	38.82	S52. 3.31	寄	付
"	生 麦二丁目2036-114	26.00	S50. 3.31	所	管 換
神奈川区	神大寺一丁目31	36.00	S51. 1. 9	帰	属
"	神大寺三丁目5	88.10	S59. 5. 4	帰	属
中区	矢口台 57-3	87.98	S49. 9. 4	購	入
南区	永田山王台 27	36.00	S41. 7.25	寄	付
"	永田台 28	87.06	S45. 9.24	寄	付
"	永田台 33	99.45	S45. 9.24	寄	付
"	永田台 37	103.04	S53. 6.10	所	管 換
"	永田みなみ台 1	61.18	S51. 3.24	帰	属
"	永田みなみ台 1589-15	47.75	S59. 3. 1	帰	属
"	六ツ川三丁目80-24	37.10	S60. 7.30	帰	属
港南区	上大岡東一丁目1064-17	59.55	S60. 2.19	帰	属
"	上大岡東三丁目9	72.28	S59. 5. 4	帰	属
"	上永谷五丁目16	82.74	S50. 4. 4	寄	付
"	港南台一丁目24-7	56.47	S60. 7.30	帰	属
"	笹下三丁目20	45.08	S48. 5.26	寄	付
"	下永谷町 2102-25	35.00	S48. 4.23	寄	付
"	芹が谷一丁目16	26.74	S53. 3.30	帰	属
"	芹が谷一丁目19	23.35	S53. 3.30	帰	属
"	日限山一丁目66	1,519.60	S53. 3.30	帰	属
"	日野二丁目61-3	33.41	S52. 8. 8	帰	属
"	日野九丁目22	45.28	S48. 6. 8	寄	付
"	日野南五丁目19	56.44	S48.11. 5	寄	付
"	日野南六丁目10	98.74	S48.11. 5	寄	付
保土ヶ谷区	今井町 909-4	54.45	H18. 7.27	帰	属
"	岩井町 123-24	52.83	S58. 2.24	帰	属
"	岩間町 184-3	47.08	S46. 9.17	所	管 換
"	東川島町 35-76	53.40	S59. 6.14	帰	属
"	法泉三丁目23	30.57	S57. 8.17	帰	属
"	峰沢町 307-5	36.18	S55. 4.11	帰	属
旭区	今宿東町 836-2	46.91	S59. 3. 1	帰	属
"	四季美台 70-23	56.53	S47. 7.31	寄	付
"	白根四丁目1436-185	16.29	H 2. 8. 3	帰	属
"	鶴ヶ峰一丁目8	73.06	S59. 8. 8	帰	属
"	二俣川 2-32-27	58.81	S47. 7. 7	寄	付
"	万騎が原 148-36	61.07	S49. 4.30	寄	付
"	南希望が丘 100-5	51.23	S32. 3.30	譲	与
"	若葉台二丁目14	54.91	S57. 3.31	帰	属
"	若葉台二丁目20	66.61	S57. 3.31	帰	属
"	若葉台三丁目1	53.45	S57. 3.31	帰	属
"	若葉台四丁目15	57.25	S57. 3.31	帰	属
"	若葉台四丁目21	52.16	S57. 3.31	帰	属
"	若葉台四丁目34	89.92	S58. 9.13	帰	属
"	上川井町 2880-8	79.00	H11. 6. 8	帰	属
"	上川井町 2882-4	82.00	H11. 6. 8	帰	属

所在地			面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
磯子区	磯	子八丁目19	50.00	H 3. 9. 9	帰	属
"	岡	村六丁目977-96	54.07	H 6. 4. 6	帰	属
"	岡	村八丁目11	58.01	S47. 7. 31	寄	付
"	栗	木三丁目782-7	58.40	S59. 9. 11	帰	属
"	杉	田七丁目7-31	54.01	S47. 2. 10	寄	付
"	杉	田九丁目2	99.18	S47. 7. 31	寄	付
"	丸	山一丁目355-6	54.71	S63. 3. 23	帰	属
"	洋	光台六丁目29-47	36.00	S62. 6. 17	帰	属
金沢区	片	吹110-149	41.52	S60. 9. 19	帰	属
"	片	吹210-4	78.57	S61. 9. 29	帰	属
"	金	沢町193-30	70.85	S53. 2. 6	帰	属
"	釜	利谷西一丁目11	51.33	S54. 9. 18	帰	属
"	釜	利谷南二丁目4	60.78	S59. 8. 8	帰	属
"	釜	利谷南三丁目1	74.82	S59. 6. 14	帰	属
"	釜	利谷南三丁目5	71.38	S59. 6. 14	帰	属
"	釜	利谷東四丁目28	48.90	S47. 6. 21	寄	付
"	釜	利谷東八丁目1794-146	94.49	H11. 3. 1	帰	属
"	幸	浦二丁目13-4	75.45	S56. 7. 20	帰	属
"	柴	町355-4	91.40	S63.10.17	帰	属
"	富	岡西一丁目66	56.16	H 3. 1. 25	帰	属
"	富	岡西六丁目12	56.11	H元. 4. 26	帰	属
"	富	岡西七丁目13	74.96	S56.12.25	所	管換
"	富	岡西七丁目23	50.39	S60.11. 1	帰	属
"	能	見台一丁目22-2	59.75	S57. 5. 11	帰	属
"	能	見台二丁目1	53.37	S59. 4. 9	帰	属
"	能	見台二丁目20	61.92	S59. 4. 9	帰	属
"	能	見台三丁目1	54.54	S59. 4. 9	帰	属
"	能	見台三丁目46	57.76	S49. 4. 9	帰	属
"	能	見台三丁目51	59.22	S59. 4. 9	帰	属
"	能	見台三丁目51	53.63	S59. 4. 9	帰	属
"	能	見台四丁目3-2	56.07	S61. 9. 29	帰	属
"	能	見台四丁目3-3	56.35	S61. 9. 29	帰	属
"	能	見台四丁目3-4	56.17	S61. 9. 29	帰	属
"	能	見台四丁目4-2	77.34	S61. 9. 29	帰	属
"	能	見台五丁目61-6	55.08	S61. 9. 29	帰	属
"	能	見台六丁目29-4	56.46	S61. 9. 29	帰	属
"	東	朝比奈一丁目37	28.00	S47. 9. 7	寄	付
"	東	朝比奈二丁目15	37.00	S47. 9. 7	寄	付
"	福	浦一丁目4-3	73.96	S58.12.22	所	管換
"	福	浦一丁目9-3	73.90	S58.12.22	所	管換
"	福	浦二丁目1-10	73.96	S58.12.22	所	管換
"	福	浦二丁目2-2	109.77	S58.12.22	所	管換
"	福	浦二丁目11-4	73.96	S58.12.22	所	管換
"	福	浦二丁目12-3	95.65	S58.12.22	所	管換
"	六	浦三丁目5	27.88	S47. 7. 12	寄	付
"	六	浦三丁目5	35.84	S52. 5. 23	帰	属
"	六	浦三丁目21	36.84	S55. 3. 4	帰	属
"	六	浦三丁目31	37.38	S47. 9. 7	寄	付
"	六	浦三丁目40	25.02	S47. 9. 7	寄	付
"	六	浦東三丁目11-17	28.95	S48. 1. 11	寄	付

所在地		面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
金沢区	六浦町 1397-41	68.71	S47. 7.18	寄	付
"	六浦町 1882-13	52.02	S47. 7.18	寄	付
"	六浦町 1948-14	53.45	S63. 4.22	帰	属
"	西柴二丁目114-227	32.92	H14.12.18	帰	属
"	谷津町 78-121	27.99	H14.12.18	帰	属
港北区	篠原町 958-14	88.19	H 2. 6.16	帰	属
"	大豆戸町 838	96.33	S53. 8. 3	帰	属
緑区	上山町 661-82	49.26	S47. 9.21	寄	付
"	鴨居町二丁目23	139.06	S57. 2.17	帰	属
"	霧が丘一丁目7-13	40.41	S61. 9.20	帰	属
"	霧が丘一丁目28-13	56.01	H17. 8. 8	帰	属
"	霧が丘四丁目1-2	51.13	S59. 3. 1	帰	属
"	霧が丘六丁目1-4	49.63	S57. 4. 1	帰	属
"	竹山一丁目4-4	51.54	S48. 5.21	寄	付
"	台村町 933-3	67.98	S60. 5. 7	帰	属
"	白山一丁目17	50.33	H元. 4.26	帰	属
"	三保町 1335-2	49.93	S62. 8. 5	帰	属
"	三保町 2662-42	79.47	S53. 8.16	帰	属
"	三保町 2710-252	97.66	S53. 8.16	帰	属
青葉区	あざみ野南三丁目16-24	37.10	H17. 1. 7	帰	属
"	美しが丘西一丁目12-6	40.03	H18.12. 7	帰	属
"	美しが丘西一丁目13-12	55.05	H16.11. 5	帰	属
"	美しが丘西二丁目19-7	39.07	S51.12. 7	帰	属
"	美しが丘西二丁目34-19	39.66	H18. 4. 6	帰	属
"	荏子田二丁目15-89	32.00	H20. 2.25	帰	属
"	荏田西一丁目3-11	34.10	S58.10. 8	帰	属
"	荏田西二丁目30-3	54.16	S58.10. 8	帰	属
"	大場町 362-1	53.00	H元.11.13	換	地
"	大場町 368-56	54.02	H元.11.13	換	地
"	大場町 703-19	40.03	H19. 8.14	帰	属
"	大場町 704-74	64.23	H元.10.17	所	管
"	大場町 930-78	47.74	S49. 4. 3	寄	付
"	奈良町 2801-3	45.00	S47.11. 1	寄	付
"	鴨志田町 571-5	53.29	S59. 3. 1	帰	属
"	鉄田町 2136-4	56.24	S62.11.26	帰	属
"	黒須田 29-1	53.00	H 3.10.24	換	地
"	すすき野二丁目4-6	34.73	S57. 4. 1	帰	属
"	すすき野三丁目3-4	37.89	S50.12. 5	帰	属
"	田奈町 10-28	50.12	S59. 3. 1	帰	属
"	千草台 17-4	91.28	S61.11.28	所	管
"	みたけ台 17-14	31.00	S50.12.10	帰	属
都筑区	あゆみが丘 8-1	79.33	H13. 4. 1	所	管
"	荏田南一丁目19-13	56.39	H16.12. 8	帰	属
"	荏田南五丁目23-8	45.50	H18.12.25	帰	属
"	北山田二丁目28-2	38.19	H19.12. 7	帰	属
"	南山田一丁目3-8	73.96	H 9. 3.10	帰	属
戸塚区	上倉田町 1140-3	62.57	S50. 3. 6	購	入
"	下倉田町 615-58	45.75	H18. 2.28	帰	属
"	戸塚町 1873-54	63.72	H 6. 5. 9	帰	属
"	戸塚町 2625-46	28.49	S51. 7.30	帰	属

所在地			面積 (㎡)	取得年月日	取得事由
戸塚区	戸塚	町 3755-12	48.75	S62. 9.12	帰属
"	名瀬	町 782-78	45.85	S61. 7.29	帰属
"	名瀬	町 2850-23	60.07	S47.12.14	寄付
"	平	戸一丁目1436-4	58.45	S60. 2.19	帰属
"	平	戸五丁目934-28	61.88	H13. 9.10	帰属
"	俣野	町 1403-71	58.98	S55. 7. 2	帰属
"	矢部	町 1967-3	49.04	S62. 6.17	帰属
"	舞岡	町 644-8	49.00	H 6.11. 1	帰属
栄区	飯島	町 37-4	44.51	S53. 3.27	帰属
"	上郷	町 242-3	57.90	S57. 8.17	帰属
"	東上郷	町 30	42.29	S54. 5.15	帰属
泉区	和泉	町 5739-5	95.37	S52. 3. 9	帰属
"	上飯田	町 2090-23	99.67	S57.12.15	所管換
瀬谷区	阿久和	町 2556-3	40.10	S58.10.13	帰属
"	阿久和	町 3577-2	43.74	S50. 1.31	寄付
"	阿久和	町 7685-3	55.38	S59. 3.21	帰属
"	下瀬谷	町三丁目57	47.59	S55. 2.25	帰属
"	瀬谷	町 2590-8	88.00	S57. 5.10	出張所から一部用途変更
"	宮沢	町 956-56	163.40	S51. 9.27	寄付
合計			11,334.89		

(施設課)

■ 消防訓練場の現況

平成19年度

名称 / 所在地	面積 (㎡)	取得年月日	取得事由
<u>横浜市消防訓練センター</u> 戸塚区 深谷町 777番地	54,093.58	S58. 8. 4	所管換 (旧財政局・道路局他から)
<u>都筑区消防訓練場</u> 都筑区 勝田町 1093番地	766.78	H20. 3. 31	用途変更 (勝田消防出張所廃止に伴う)
合 計	54,860.36		

(施設課)

安全管理局沿革

焼損床面積1,000㎡以上、死者3人以上、負傷者10人以上の火災及び社会的影響の大きい火災・風水害を掲載
(非開示情報に該当する項目を除く)

年 月	記 事
1948年(昭和23年) 3月	<p>消防組織法の施行により県(警防部)から分離、自治体消防として横浜市消防が発足。職員854人、消防車82台、救急車2台、消防艇4隻 消防団13団8,701人 初代局長 中川勘一 就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防局(5課1室) <ul style="list-style-type: none"> 総務課(中消防署に併設) 秘書室(中消防署に併設) 予防課(中消防署に併設) 消防課(西消防署に併設) 教養監察課(西消防署に併設) 整備課(西消防署に併設) ・消防署(8署) <ul style="list-style-type: none"> 鶴見 神奈川 西 中 南 保土ヶ谷 磯子 戸塚 ・出張所(21所) <ul style="list-style-type: none"> 末吉 矢向 入船 大黒町 寺尾 安善 子安 綱島 松本 川和 長津田 浅間町 紅葉ヶ丘 伊勢佐木 帷子 大岡 井土ヶ谷 禅馬 谷津 六浦 柏尾 ・消防士補派出所(1所) <ul style="list-style-type: none"> 金沢 ・消防学校(1校) (昭和28年に県に移管)
3月	神奈川区橋本町 寄宿舍火災
4月	西区西平沼町 作業場火災
5月	南区南太田町 工場火災
	金沢区制定(10区となる)
8月	消防法施行
9月	戸塚消防署大正出張所事務開始
	アイオン台風来襲 関東、東北で死者行方不明者2,368人
10月	危険物条例公布(昭和34年4月廃止)
11月	火災予防条例公布(昭和34年3月全部改正)
1949年(昭和24年) 1月	自治体消防としての第1回出初式を中区住吉町で挙行
	鶴見区末広町 工場火災
	帷子出張所事務開始(昭和37年6月廃止)
2月	金沢司令派出所に昇格(金沢区内の事務を代決)
3月	鶴見区大黒町 自動車火災
	日本貿易博覧会開催に伴い、野毛、反町に警備隊設置(昭和25年6月解散)
	「燃えない都市展」開催
5月	瀬谷出張所事務開始

年	月	記	事
		野毛出張所事務開始	
	6月	消防局庁舎完成（我が国最初の消防本部独立庁舎）	
	8月	戸塚消防署新庁舎完成	
		キティ台風 死者9人 負傷者29人 倒壊家屋208棟 浸水家屋690戸	
	9月	消防指令通信施設完成	
	11月	防火協会設立	
	12月	神奈川区三ツ沢南町 学校火災	
		鶴見区生麦町 学校火災	
1950年(昭和25年)	1月	職員機関誌「横浜消防」創刊	
		第2回出初式を保土ヶ谷区天王町において挙行	
		火災予防雑誌「みなと消防」創刊（後に火災予防研究会機関誌）	
	2月	消防指令電話機用ラジオ増幅装置完成	
		北方出張所接收解除	
	4月	消防職員互助会発足（昭和44年3月解散）	
	5月	本郷出張所事務開始	
	6月	鶴見区生麦 寄宿舍火災 負傷者5人	
	9月	鶴見消防署岸谷出張所事務開始	
		火災予防研究会発足	
1951年(昭和26年)	1月	第3回出初式を横浜商業高校校庭において挙行	
		西区高島町高島駅岸壁 船舶火災 死者1人	
		水上ホテル 船舶転覆 死者7人 負傷者86人	
	2月	反町出張所事務開始（昭和38年3月廃止）	
	4月	鶴ヶ峰出張所事務開始（昭和46年10月廃止）	
		中区桜木町 電車火災 死者107人 負傷者81人	
	5月	港南出張所事務開始（昭和46年10月廃止）	
		金沢区富岡町 自動車修理工場火災	
		指定勤務制度実施	
	7月	港北消防署事務開始（9署となる）	
		港北消防署綱島司令補派出所を出張所に改称	
	8月	各署に火災原因調査専従員を配置	
	9月	職員住宅建設互助会発足（昭和46年10月解散）	
	10月	消防局に通信課新設（昭和27年10月廃止）	
		鶴見消防署生麦出張所事務開始	
	11月	神奈川区宝町岸壁 船舶火災 死者1人 負傷者3人	
		消防宝くじ発行	
	12月	鶴見区矢向町 工場火災 死者2人 負傷者14人	
1952年(昭和27年)	1月	第4回出初式を横浜商業高校において挙行	
		金沢区六浦町 学校火災 負傷者1人	
		保土ヶ谷区今井町 航空機火災 死者12人	
	5月	戸塚消防署中和田分遣所事務開始	
	6月	金沢区六浦町 山林内 航空機火災 死者1人	

年	月	記	事	
1953年(昭和28年)	8月	金沢区野島町 航空機火災 死者1人 中区新山下 事務所火災 負傷者5人		
	9月	中消防署水上出張所事務開始(昭和33年7月中消防署から西消防署に移管)		
	10月	第2代局長 大島英武就任 神奈川区橋本町 船舶火災 死者2人 負傷者6人 金沢消防署事務開始(10署となり1区1署制設定) 金沢司令派出所廃止 金沢消防団が創立(消防団14団、7,821人となる)		
	11月	消防艇「はまかぜ」就航(昭和52年廃船)		
	12月	南区八幡町 住宅火災 死者3人 負傷者1人		
	1月	第5回出初式を横浜商業高校において挙行 横浜港湾内 船舶火災 死者1人		
	4月	消防学校を県に移管 港北区長津田町 精米業火災 西区北幸町 工場火災		
	5月	山手出張所(臨時)事務開始		
	11月	保土ヶ谷区岩間町 工場火災 鶴見区小野町 工場火災		
	12月	神奈川区六角橋西町 学校火災		
	1954年(昭和29年)	1月	第6回出初式を横浜商業高校において挙行	
		2月	鶴見区東寺尾 学校火災	
3月		保土ヶ谷区月見台 学校火災 負傷者4人 神奈川区山内町 倉庫・工場火災 負傷者30人 港北区池辺町 航空機火災 死者3人		
6月		消防団長会主催「大相撲」(千代の山一行)を挙行		
7月		保土ヶ谷区天王町 工場火災 死者4人 負傷者3人 南区中里町 工場火災 負傷者8人		
8月		南区笹下町刑務所火災		
9月		各署通信専従員を設置		
11月		戸塚区柏尾町 工場火災		
12月		暁の非常招集実施		
1955年(昭和30年)		1月	第7回出初式を横浜商業高校において挙行	
		2月	磯子区杉田 学校火災 負傷者6人 戸塚区原宿町 老人ホーム火災 死者99人 負傷者9人 西区北軽井沢町 会社寮火災 負傷者5人	
		4月	保土ヶ谷区神戸町 工場火災 保土ヶ谷区二俣川町 航空機火災 死者1人	
	8月	第3代局長 及川盛雄就任 保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者3人		
	9月	火災予防研究会創立5周年記念大会開催		

年	月	記	事	
1956年(昭和31年)	10月	保土ヶ谷区今宿町 航空機火災 死者1人 消防局武道場竣工 第10回国体横浜会場消防警備実施 西区花咲町 キャバレー火災		
	1月	第8回出初式を市庁舎建設地において挙行		
	3月	南区山王町 共同住宅火災 死者3人 負傷者5人		
	4月	教養監察課廃止 南区中里町 工場火災 負傷者1人		
	5月	金沢区六浦町 マーケット火災 負傷者2人		
	7月	火災共済設立 中区本牧町 教会火災		
	9月	鶴見区生麦町 学校火災 負傷者1人		
	10月	集中豪雨のため死者7人 負傷者11人 被害家屋2,248戸		
	12月	中区尾上町 工場火災 負傷者13人		
	1957年(昭和32年)	1月	第9回出初式を市役所建設敷地において挙行 火災警報信号所を告示 西区平沼 倉庫火災 負傷者2人	
		2月	鶴見区大黒町 岸壁 船舶火災 死者1人	
		3月	神奈川区六角橋 工場火災 負傷者3人	
4月		消防団員等公務災害補償条例を制定 神奈川区東神奈川町 食堂火災 負傷者3人 西区岡野町 工場火災		
6月		油脂類大量貯蔵施設との相互応援協約成立		
10月		第4代局長 板橋英二就任 戸塚区瀬谷町 航空機火災 死者1人 負傷者1人		
11月		磯子消防署新庁舎完成 旧磯子消防署を杉田出張所として事務開始 (禅馬出張所廃止)		
1958年(昭和33年)		1月	第10回出初式を県庁前において挙行 保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者2人 負傷者14人 鶴見区大黒町 工場火災 死者1人 負傷者39人	
		2月	中区新山下町 工場火災 負傷者1人 鶴見区生麦 船舶火災 死者1人	
		3月	春の火災予防週間の一環として「市民と消防の集い」開催 於鶴見公会堂	
		4月	神奈川区橋本町 船舶火災 死者1人 負傷者1人	
		5月	横浜開港100年祭記念式典が平和球場で開催 保土ヶ谷区岩井原 学校火災 死者1人	
	6月	鶴見消防署矢向出張所新庁舎完成		
	7月	水上出張所を中消防署から西消防署へ移管		
	8月	消防局音楽隊誕生 隊員32人 戸塚区戸塚町 車両火災 死者3人		

年 月	記 事
1959年(昭和34年)	9 月 神奈川区神大寺町 航空機火災 死者1人 負傷者9人 自治体消防10周年記念式典を横浜公園体育館で開催 台風22号(狩野川台風) 死者61人 負傷者135人 倒壊家屋792棟 浸水家屋24,036戸
	10 月 消防団10周年記念式典開催 中区曙町 飲食店火災 死者3人
	11 月 秋の火災予防週間の一環として宮田輝(金沢) 渡辺はま子(中) 一日消防署長に任命 消防法第23条に基づき、三溪園の内外苑を火気厳禁
	1 月 第11回出初式を県庁前において挙行 金沢区六浦町 共同住宅火災 負傷者3人
	3 月 鶴見区下野谷町 工場火災 負傷者2人
	4 月 消防法改正(危険物規則)により危険物条例廃止 神奈川区瑞穂岸壁 船舶火災
	5 月 救急艇「はまかぜ2号」就航 望楼勤務午後6時から翌朝9時までとし、昼間勤務廃止 鶴見消防署東寺尾出張所新庁舎完成 寺尾出張所とする
	7 月 西区北幸町 工場火災
	8 月 国際消防長会議出席のため板橋局長渡米(8月12日~9月18日)
	9 月 横浜市役所新庁舎完成 伊勢湾台風被災地へ ボート100隻 隊員15人を派遣 応援救助に 従事
	10 月 消防職員は警察共済組合から分離 区健康保険組合へ加入
	11 月 金沢区釜利谷町 工場爆発火災 死者3人 負傷者560人 (同12月14日消防課長以下17人叙勲)
12 月 神奈川区子安台 火薬輸送車爆発火災 死者4人 負傷者110人 金沢区町屋町 県営住宅火災失 負傷者12人	
1960年(昭和35年)	1 月 第12回出初式を県庁前において挙行
	2 月 酸素呼吸器、酸素ドレーガーを配置
	3 月 横浜公園体育館死事故 死者12人 負傷者14人 「横浜市消防の歌」制定 南消防署井土ヶ谷出張所新庁舎完成
	4 月 南区井土ヶ谷中町 市場火災 南区庚台 共同住宅火災 死者3人
	5 月 第5代局長 武井 武就任
	8 月 金沢区富岡町 市職員寮火災
	9 月 消防監補の階級新設(昭和37年8月廃止) 火災予防研究会創立10周年記念大会開催
	11 月 各消防署に3係制(庶務、指導、警防)設置
	12 月 東海道線滝坂踏切で衝突事故 死者8人 負傷者10人 戸塚区下飯田町 住宅火災 死者3人

年	月	記	事	
1961年(昭和36年)	1月	第13回出初式を蒔田公園において挙行 東海道線秋葉踏切で衝突事故 死者7人 負傷者94人 戸塚区柏尾町 工場火災		
	3月	州崎、大正出張所新庁舎完成 鶴見区安善町 船舶火災 死者1人 負傷者5人		
	5月	32メートルはしご消防車完成(西消防署へ配置)		
	6月	世界アマチュアレスリング選手権大会が慶応大学で開催 特別警備 実施 集中豪雨 死者22人 負傷者32人 倒壊家屋227棟 浸水家屋 19,956戸 崖崩れ444箇所		
	7月	消防車機関員級別認定設置 南区井土ヶ谷中町 工場火災		
	9月	防火管理者講習はじめる		
	11月	戸塚区瀬谷町 航空機火災 死者1人		
	12月	特別点検を蒔田公園で実施		
	1962年(昭和37年)	1月	第14回出初式を蒔田公園で挙行	
		2月	神奈川区七島町 住宅火災 負傷者5人	
		3月	消防法改正により旧火災予防条例を全面改正して新条例を公布	
		5月	深海潜水艇(バチスカーフ号)危険物持込に対し特別警備	
6月		超短波無線を増設3波3方面分割 希望ヶ丘出張所新設事務開始 帷子出張所廃止		
7月		火災予防条例施行規則制定 金沢区堀口において人工崖崩れ実験実施		
8月		機構改革により部制を新設(総務部・警防部)部長を設置 消防監補の階級を廃し消防司監、消防正監、消防監を新設 各署に副署長制設定(1局2部6課10署35出張所となる)		
		・消防局 総務部 総務課 人事教養課 機械課 警防部 予防課 保安課 警備課		
		・消防署 庶務課 予防課 警備課		
		在日米軍と消防相互応援協約締結 戸塚消防署瀬谷出張所、鶴見消防署入船出張所新庁舎完成 中和田分遣所を出張所に昇格 国際消防長会議出席のため武井局長渡欧(8月31日から10月4日)		
9月		横浜港内第3区 船舶火災		
10月	京浜運河で日本籍船舶とノルウェーのタンカーが衝突炎上、日本側 死者39人			
11月	鶴見区大黒町 火力発電所火災 死者3人			

年	月	記 事
1963年(昭和38年)	12月	保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者5人 負傷者42人 スノーケル車完成(南消防署配置)
	1月	第15回出初式を蒔田公園で挙 長期異常乾燥に伴い特別火災警報発令 外房灯台東北東沖合 船舶火災
	2月	自治体消防15周年記念式典開催(於西公会堂) 神奈川区西神奈川町 工場火災 死者2人 負傷者3人 消防艇「あけぼの」就航(磯子消防署配置)
	3月	綱島、浦島出張所新庁舎完成 災害対策基本法に基づき災害対策本部条例、防災条例制定 火災予防査察規程制定 京浜急行上大岡駅 電車火災 負傷者24人
	6月	鶴見消防署新庁舎(鶴見区総合庁舎)へ移転 「防火管理者の証」公布はじまる 大倉山トンネル(新幹線)落盤事故 死者4人 負傷者3人
	7月	第6代局長 渋谷三郎就任 レンジャー隊員陸上自衛隊にて訓練 鶴見区向井町 学校火災 南区最戸町 工場火災
	8月	日吉出張所事務開始 反町出張所廃止
	10月	横浜市地域防災計画策定 横浜市消防本部及び消防署の設置等に関する条例 横浜市消防団の設置等に関する条例制定 東京国際スポーツバレーボール大会特別警備 中区長者町 簡易宿泊所火災
	11月	神奈川区桐畑の京浜第2国道上で都市ガス火災 国鉄鶴見事故 死者162人 負傷者87人 科学消防展を有隣堂で開催
	12月	神奈川区宝町岸壁 船舶火災 死者2人
1964年(昭和39年)	1月	第16回出初式を蒔田公園で挙 鶴見区市場町 工場火災 負傷者1人
	2月	岸谷出張所新庁舎完成
	3月	中区未吉町 マーケット火災 神奈川消防署新庁舎(神奈川区総合庁舎)へ移転 鶴見区矢向町 工場火災
	4月	第7代局長 新井助太郎就任 城郷出張所事務開始 松本出張所廃止
	5月	少年消防クラブ結成 20クラブ誕生
	6月	消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例および規則制定

年	月	記	事
1965年(昭和40年)	8月	機構改革により予防部および救助課新設(3部7課となる)	
		・総務部	
		総務課	人事教養課 機械課
		・予防部	
		予防課	指導課
		・警防部	
		警備課	救助課
			消防特別救助隊事務開始 伊勢佐木出張所廃止
	10月	東京オリンピックのサッカー(三ツ沢競技場)バレー(文化体育館)	会場警備支援業務開始
	11月	南区中里 工場火災	
		鶴見区矢向町 工場火災	負傷者3人
	1月	第17回出初式を蒔田公園で挙	行
	山手出張所新庁舎完成		
2月	金沢区釜利谷 山林火災	41ヘクタール焼失	
	中区山下町 工場火災		
3月	金沢区六浦町 学校火災	負傷者2人	
4月	アジアユースサッカー大会警備実施		
5月	リモコン放水砲製作完成		
	鶴見区大黒町 船舶火災	死者1人 負傷者2人 10隻焼損	
6月	下永谷出張所事務開始		
8月	鶴見区小野町 住宅火災	負傷者21人	
9月	火災予防研究会創立15周年記念大会実施(於県立音楽堂)		
10月	戸塚区上倉田町 倉庫火災		
12月	戸塚区公田町 共同住宅火災	死者3人	
1966年(昭和41年)	1月	第18回出初式を蒔田公園で挙	行
	2月	神奈川区新浦島町 工場火災	死者1人 負傷者12人
	6月	全消会総会を文化体育館で開催	
		台風4号 死者32人 負傷者14人 倒壊家屋58棟 浸水家屋38,859	
		戸 崖崩れ851箇所	
	8月	境之谷出張所事務開始 紅葉ヶ丘出張所廃止	
	9月	台風26号関東、中部に大被害 死者行方不明314人	
	11月	アジア消防長会議出席のため池田喜之助総務部長バンコックへ海外	出張(11月29日~12月7日)
	12月	中区不老町 飯場火災	死者3人 負傷者2人
		第8代局長 池田喜之助就任	
1967年(昭和42年)	1月	第19回出初式を蒔田公園において挙	行
		西区平沼 病院火災	死者4人 負傷者1人
		鶴見区市場町 工場火災	死者5人 負傷者2人
		市民総ぐるみ焼死者絶滅運動実施	
	2月	港北区菊名町 学校火災	負傷者1人

年	月	記	事
1968年(昭和43年)	3月	中区山下町 船舶火災 死者1人	
		中区海岸通 船舶火災 死者1人	
	5月	水陸両用車制作完成	
		兼務救助隊設置(入江町、浅間町、杉田)	
		十日市場出張所事務開始	
	6月	六浦出張所新庁舎	
	7月	中区本牧等地 タンカー火災 死者1人	
	10月	中区山下ふ頭4号岸壁 はしけ 死者1人	
		第9代局長 青木近衛就任	
	1月	第20回出初式を蒔田公園において挙行	
		神奈川区神の木台 住宅火災 負傷者4人	
	2月	副士長制を創設	
3月	杉田出張所(待機宿舎併設)、新庁舎完成		
	液化石油ガス保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行により		
	LPGに消防が関与		
4月	南区中村町 住宅火災		
	東名高速道路開通に伴い高速道救急業務開始		
	「都市災害対策会議」制定		
5月	機構改革により企画課創設、主幹・副主幹・主査の職制設置、消防		
	署に警備第一係、警備第二係設置(消防局3部8課、消防署4係となる)		
	金沢区六浦町 学校火災 負傷者2人		
	「特別警防対策実行本部」の制定		
6月	「市民防火(防災)の日」制定		
	消防艇「まもり200」就航(西消防署配置)		
7月	煙対策実験を緑ヶ丘全日空社宅にて実施		
	鶴見区未広町 住宅火災 死者4人 負傷者1人		
8月	末吉出張所新庁舎完成		
	相模鉄道瀬谷駅電車衝突事故 負傷者86人		
	自衛消防地区組織結成		
9月	自治体消防発足20周年記念「市民と消防の集い」開催、文化体育		
	館		
	西区緑町 船舶火災 死者2人		
	「市民防火(防災)の日」全市一斉に実践活動開始		
12月	鶴見区大黒町 船舶火災 死者1人		
1969年(昭和44年)	1月	第21回出初式を蒔田公園において挙行	
		赤パイ製作完成 10台	
		西区高島町 船舶火災 死者1人	
	3月	消防職員互助会解散	
4月	消友会・共励会発足		
	中区本牧ふ頭B5号 船舶火災		

年 月	記 事
	初めて婦人消防官・大学卒消防吏員を採用
5 月	消防署に課制を導入（庶務・予防・警備第一・警備第二の4課） 磯子水上出張所事務開始、水上出張所は西水上出張所に改称 中区山下ふ頭3号岸壁 船舶火災 神奈川区子安通 造船所火災
6 月	第1回都市消防レンジャー技術交換競技会開催、参加25都市、200人
7 月	高速救助艇「まもり201」就航 長津田出張所新庁舎完成（待機宿舎併設） 「消防体育館」発会 消防事務の総点検実施 中区扇町 簡易宿泊所火災 死者3人
8 月	中和田出張所新庁舎完成（待機宿舎併設）
9 月	家庭防災予防員誕生 2,181人
10 月	分区実施（14区となる）に伴い緑・旭・瀬谷・港南に消防団結成 17団 7,825人 国際消防長会議出席のため青木局長渡欧（9月29日～10月29日） 危険物規制規則全面改正 鶴見区市場町 工場火災 死者3人 負傷者3人 保土ヶ谷消防署新庁舎完成
11 月	消防局新庁舎完成（保土ヶ谷総合庁舎）に移転
12 月	消防局屋内訓練センター開き（消防局所庁舎内、保土ヶ谷区総合庁舎6階） 瀬谷区瀬谷町 住宅火災 死者4人 危険物運搬防災連絡協議会発足
1970年(昭和45年)	1 月 第22回出初式は「70年出初式」として本牧埋め立て地において挙行 火災予防違反処理規程制度
	3 月 鶴見区生麦町 作業場火災 横浜消防20年史「炎」発刊
	4 月 火災予防査察規程を全面改正
	5 月 機構改革により人事教養課を人事課・教育課に分離、機械課を装備課に改称、防災課新設（3部10課となる） 本陣出張所新庁舎完成
	6 月 大正出張所新庁舎完成 火災予防研究誌「みなと消防」を「ヨコハマ都市消防」に改称
	7 月 集中豪雨 死者3人 負傷者7人 倒壊家屋88棟 浸水家屋6,204棟 崖崩れ290箇所 第2回都市消防レンジャー技術交換競技会開催 参加64都市 400人 婦人消防官都市交換会開催、参加5都市 55人 業種別防災連絡会発足 13業種 2,235人 職場改善協議会設立
	8 月 東京湾消防相互応援協定締結（横浜・東京・川崎・千葉・市原）

年 月	記 事
1971年(昭和46年)	中区山下ふ頭 船舶火災 地震対策訓練を市内549箇所で一斉に実施
	9 月 岡津出張所事務開始 中区山下町 住宅火災 死者3人 消防職員給与規定を改正、一般職員と同等となる
	10 月 勝田出張所事務開始 タンカー 船舶火災 死者4人
	1 月 第23回出初式は「消防新春会」として文化体育館において挙行 南区高根町 劇場火災 負傷者3人 鶴見区小野町 住宅(古物商)火災 死者3人 負傷者5人
	2 月 横浜港湾災害対策実行本部設立
	4 月 地震対策協議会に専門家を招き開催 金沢消防署新庁舎(金沢区総合庁舎)へ移転、旧金沢消防署を谷津出張所として事務開始、州崎出張所廃止 南区中島町 スーパーマーケット火災 負傷者2人
	5 月 市民バンド結成 都岡出張所事務開始 富岡出張所事務開始
	6 月 機構改革により災害調査課新設、防災課廃止(3部10課) 対爆リモコン消防車試作完成 洋光台団地高層ビル訓練実施 駒岡出張所事務開始(待機宿舎併設) 瀬谷消防署事務開始、瀬谷出張所を中瀬谷出張所に改称(11消防署となる)
	7 月 第3回都市消防レンジャー技術交換競技会を新潟県柏崎市で開催 参加109都市 西区高島町 船舶火災
	8 月 本郷出張所新庁舎(戸塚区役所本郷出張所総合庁舎)へ移転 中区錦町 造船所 タンカー火災 死者5人 負傷者1人 台風23号 死者1人 倒壊家屋8棟 浸水家屋2,627棟
	10 月 地震の備えとして避難袋研究会開催 港南消防署事務開始、港南出張所廃止(12消防署となる) 市職員海外研修生として高橋宗行救助係長渡欧(8月15日~9月15日) 旭消防署事務開始、鶴ヶ峰出張所廃止(13消防署となる)
	11 月 「市民と消防の消防技術競技大会」開催
12 月 耐震自動消火石油ストーブ研修会開催 40メートルはしご消防車・消防ロボット・ミニ消防車完成	
1972年(昭和47年)	1 月 第24回消防出初式は、「戸塚・区民消防総合出初式」として戸塚区青少年スポーツ広場において挙行 鶴見区大黒町工場火災 負傷者3人

年	月	記 事
1973年(昭和48年)	2月	消防用ロボットをテレビ放送によって一般公開 八丈島沖地震に伴い、家庭主婦6,757人と消防職員1,924人を対象として地震時における意識調査を実施 南区中村町 工場火災 資料「危険エネルギー」刊行
	4月	入江町出張所新庁舎完成 地震時動員計画の策定、動員訓練の実施 南区中里町 倉庫火災
	5月	藤が丘出張所事務開始(新設)
	6月	大地震災害の想定によって、群衆避難流動実態調査を鶴見区において実施
	7月	救急車のサイレンを電子音(ピーポー)サイレンに変更 消防局主査の設置(消防訓練センター建設担当主査) 消防局主査の設置(交通事故処理担当主査) 第4回都市消防レンジャー技術競技大会を実施(13署295人) 緑消防署事務開始(14消防署となり1区1署制になる) 西谷出張所事務開始
	8月	第5回消防防災水上技術競技大会を実施 市民の要望に応じて消防防災的見地から検討決定した避難袋の実費頒布を開始 神奈川区守屋町 船舶火災 死者1人
	9月	電算機導入準備プロジェクトチームを編成 港北区茅ヶ崎町 工場火災
	10月	地震時に火災を絶対おこさない市民運動「家庭防災予防員のつどい」を開催 中区山下ふ頭3号岸壁 貨物船火災 西区南幸一丁目 プロパン爆発 死者4人 負傷者13人
	11月	市民と消防の消防技術競技大会は、各地区大会として実施 消防局長の地震特別講演を市内12箇所の会場で開催
	12月	全署所に対する消防局長視察 野毛出張所廃止 磯子区磯子 住宅火災 死者3人 中消防署伊勢佐木出張所事務開始 第10代局長 下田光太郎就任
	1月	各区(署)の消防出初式が挙行された(本年から各区毎の消防出初式のみと改められた)
	2月	消防局三溪園公舎の廃止 南区高根町 共同住宅都市ガス爆発 死者2人 負傷者2人
	3月	航空消防準備委員会の設置
	4月	緑区子供の国において消防フェア開催(約3万人)
	5月	消防訓練センター建設委員会の設置

年	月	記 事
1974年(昭和49年)	6月	油火災消火技術基本訓練実施(日石根岸精油所において190隊参加) 元石川出張所事務開始
	6~12月	各地において、地震に火災を絶対に起こさない市民の集い実施 参加延人員 約8,201人
	7月	ビル火災実験(保土ヶ谷化学株式会社廃屋、鉄筋コンクリート造4階建てを利用)
	8月	総務部総務課に消防用地担当副主幹設置(昭和52年6月機構改革により廃止) 第6回消防防災水上技術競技大会実施(山下公園先海上) 中区山下ふ頭7号岸壁 船舶火災
	9月	中区新港ふ頭8号岸壁 船舶火災 死者6人 負傷者1人
	11月	消防技術競技大会は、各地区大会として実施(消防隊178隊うち消防団36隊) 中区松影町 共同住宅火災 死者4人 地震災害対策図上演習会実施(消防局屋内訓練センター) 集中豪雨 死者1人 負傷者3人 倒壊家屋56 浸水家屋4,012棟 第5回横浜消防総合美術展開催(出品284点、出場者3,070人、横浜ステーションビル)
	12月	地震災害対策の計画による職員動員訓練実施(所属、直近署所動員1,243人動員)
	1月	各署(区)の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙行された 消防職員待機宿舎(西戸部寮)の廃止
	3月	鶴見区生麦町 住宅火災
	4月	第2回アジア卓球選手権大会の消防特別警備(4月2日~15日まで) 中国体育友好代表団 趙団長以下9人来局 南消防署が南総合庁舎に移転、事務開始 中村町出張所事務開始(南消防署に開設) 井土ヶ谷出張所廃止
	5月	第11代局長 松林義幸就任
	7月	消防用設備等設置状況の表示、公表制度発足 集中豪雨 倒壊家屋36棟 浸水家屋6,198棟 中国上海曲芸団一行66人来局
	8月	十大都市消防長会議の開催(箱根強羅ホテル) 戸塚区桂町 共同住宅火災 第24回消防親善野球大会の開催(平和球場)
	9月	第3回消防救助技術関東地区指導会開催(県立保土ヶ谷公園) 第3回全国消防救助技術大会開催(県立保土ヶ谷公園)
	11月	戸塚消防署新庁舎完成、事務開始
	12月	今井出張所事務開始 六ツ川出張所事務開始

年	月	記	事
1975年(昭和50年)	1月	大黒町出張所新庁舎完成、事務開始	
		鶴見区大黒町 船舶火災 死者2人 負傷者5人	
	2月	各署(区)の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙	
		神奈川区白幡東町 塗装店火災 死者3人 負傷者3人	
	5月	豊田出張所事務開始(新設)	
		中田出張所事務開始(新設)	
	6月	鴨居出張所事務開始(新設)	
		港北区太尾町 洋服店火災 死者4人 負傷者2人	
	7月	第12代局長 松本 功就任	
		消防局指導課危険物第一係、危険物第二係とした	
	9月	消防局警備課に通信係を新設	
		ゲリラ豪雨 浸水家屋365棟 崖崩れ16箇所	
10月	六ツ川出張所及び今井出張所の水難救助訓練施設(プール)を一般		
	市民に開放(7月1日~8月31日まで)		
11月	港北区綱島東 公衆浴場火災		
	集中豪雨 浸水家屋365棟 崖崩れ14箇所		
1976年(昭和51年)	1月	集中豪雨 死者1人 倒壊家屋3棟 浸水家屋598棟 崖崩れ16箇所	
		コンピューターによる「自動指令通信システム」運用開始	
	2月	消防局教育課による消防訓練センター管理担当副主幹、主査を配置	
		戸塚区柏尾町 工場火災 負傷者1人	
	3月	川和出張所庁舎建て替え工事のため、緑区川和町1119に一時移転	
		各区(署)の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙	
	4月	金沢区六浦町 寄宿舍火災	
		西区平沼一丁目 作業場火災 死者3人	
	5月	神奈川区片倉町 住宅火災 死者4人	
		横浜市消防訓練センター開庁(校舎、宿舍完成、2課4係)	
	6月	音楽隊が総務部音楽隊に昇格	
		野庭出張所事務開始(新設)	
7月	篠原出張所事務開始(新設、50消防出張所となる)		
	第28回全国消防長会総会及び全国消防協会の諸会議が、横浜文化体		
8月	育館および横浜商工会議所で開催		
	中消防署新庁舎(中区山吹町2-2)完成、移転事務開始		
9月	日本大通出張所事務開始(新設、庁舎は旧中消防署庁舎)		
	伊勢佐木出張所廃止		
10月	川和出張所庁舎建て替え完成		
	西消防署が建て替え工事のため、西区岡野二丁目4-3の仮庁舎に移		
11月	転		
	台風17号 死者1人 負傷者1人 倒壊家屋16棟 浸水家屋3,404棟		
12月	崖崩れ51箇所		
	国際消防長会議出席のため松本局長渡米(9月13日~10月1日)		
		消防局予防部に危険物課新設(消防局3部11課となる)	

年	月	記 事
1977年(昭和52年)	1 月	市内14区(署)の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙行 消防訓練センターの屋内訓練場、実務訓練場、車庫完成
	3 月	中区新港ふ頭 船舶火災 死者1人
	4 月	消防局予防部指導課に特別査察隊発足(隊長以下17人、南消防署中 村町出張所に常駐) 石油コンビナート等災害防止法に基づく3点セット(大型化学車、高 所放水車、原液搬送車)を鶴見消防署大黒町出張所に配置
	5 月	港南区大久保 住宅火災 負傷者1人 片倉出張所事務開始(新設)
	6 月	第13代局長 川口 弘就任 機構改革により消防局に施設課、指令課及び消防訓練センターに研 究開発課が新設された(3部 1訓練センター 15課) ・総務部 企画課 総務課 人事課 施設課 音楽隊 ・予防部 予防課 危険物課 指導課 ・警防部 警備課 指令課 災害調査課 救助課 ・消防訓練センター 管理課 教育課 研究開発課 港南台出張所事務開始(新設) 寺尾出張所新庁舎完成、事務開始(建て替え)
	7 月	米軍鶴見貯油施設(鶴見区安善町)の特別立入検査を実施
	8 月	集中豪雨 浸水家屋325棟 崖崩れ6箇所 第6回消防救助技術関東地区指導会開催(消防訓練センター) 第6回全国消防救助技術大会開催(消防訓練センター)
	9 月	横浜港内第2区 船舶火災 台風9号 死者1人 倒壊家屋12棟 浸水家屋3,753棟 崖崩れ51 箇所 緑区荏田町 航空機墜落炎上 死者2人 負傷者7人
	10 月	西消防署の新庁舎(建て替え)完成し、仮庁舎から移転、事務開始
	1978年(昭和53年)	1 月
3 月		鶴見区安善町、米軍鶴見貯油施設立入検査を実施する
4 月		東富岡出張所事務開始(旧谷津出張所)
5 月		消防訓練センター訓練棟竣工 高田出張所事務開始(新設) 浅間町出張所新庁舎完成(建て替え) 港北区大曽根町 住宅火災 死者3人
6 月		消防訓練センター消火訓練場竣工
9 月		港南区港南中央通 工務店作業場火災 負傷者1人
10 月		下瀬谷出張所事務開始(新設)

年 月	記 事
1979年(昭和54年)	鶴見区潮田町 作業場火災
	12 月 鶴見区生麦 船舶火災 死者1人
	港北区日吉 学校内 薬品爆発 死者1人 負傷者1人
	1 月 市内14区(署)の「消防出初式」が市内14会場において挙行
	南区別所一丁目 工場火災
	3 月 磯子区上町 集会場火災 負傷者1人
	4 月 戸塚区舞岡町 住宅火災 死者3人
	5 月 鶴見区汐入町 住宅火災 死者3人
	吉田出張所事務開始(新設)
	松見出張所事務開始(新設)
	6 月 中区本牧三之谷 共同住宅火災 死者3人 負傷者1人
	7 月 鶴見区安善町 石油補給所屋外タンク火災
1980年(昭和55年)	8 月 生麦出張所事務開始(建て替え)
	9 月 矢向出張所事務開始(建て替え)
	港北区太尾町 プロパンガス爆発 負傷者5人
	10 月 戸塚区和泉町 住宅火災 死者3人
	台風20号 死者1人 負傷者43人 倒壊家屋488棟 浸水家屋899棟 崖崩れ9箇所
	11 月 瀬谷区阿久和町 工場火災
	山手出張所事務開始(建て替え)
	磯子消防署増改築工事完了
	12 月 保土ヶ谷区上菅田町 共同住宅火災 死者4人 負傷者2人
	1 月 市内14区(署)の「消防出初式」が市内14会場において挙行
	3 月 上郷出張所事務開始(新設)
	集中降雨 浸水家屋126棟 崖くずれ2箇所
4 月 ヘリコプター運航開始	
第31回全国消防長会関東支部総会を「箱根小湧園」で開催	
大岡出張所事務開始(建て替え)	
綱島出張所事務開始(建て替え)	
中村町出張所事務開始(建て替え)	
5 月 神奈川区羽沢町 プロパンガス爆発 負傷者1人	
西区岡野二丁目 倉庫火災 負傷者4人	
7 月 鶴見区向井町 学校 水素ガス爆発 負傷者5人	
第14代局長 吉野 潤就任	
9 月 台風13号 浸水家屋299棟	
10 月 第3回全国消防長会関東支部消防職員柔剣道大会を横浜文化体育館 で開催	
南本宿出張所事務開始(新設)	
第9回全国消防長会関東支部婦人消防吏員研修会を横浜市郵便貯金 会館で開催	

年	月	記 事
1981年(昭和56年)	11 月	横浜市火災予防協会30周年記念式典を横浜文化体育館で開催 中区伊勢佐木町 空家火災 負傷者2人
	12 月	緑区市ケ尾 プロパンガス爆発 負傷者6人
	1 月	「消防局消防出初式」が鶴見区大黒ふ頭で、及び市内14区(署)の 「消防出初式」が市内15会場において挙行
	2 月	中区日ノ出町 簡易宿泊所火災 死者3人 負傷者2人 中区長者町 バー火災 負傷者1人 子安消防出張所業務廃止
	3 月	中区新山下町 倉庫火災 戸塚区矢部町 工場火災
	4 月	いずみ野出張所事務開始(新設) 消防艇「よこはま」就航(西消防署配置) 新羽出張所事務開始(新設) 上永谷出張所事務開始(新設)
	5 月	港北区新横浜二丁目 屋外物品集積場火災 負傷者1人 岸谷出張所事務開始(建て替え)
	7 月	横浜港内第1区~10号ブイ 船舶火災 集中豪雨 倒壊家屋7棟 浸水家屋522棟 崖くずれ4箇所 第6回神奈川県下消防救助技術指導会開催(消防訓練センター) 第10回消防救助技術関東地区指導会開催(消防訓練センター)
	8 月	第10回全国消防救助技術大会開催(消防訓練センター) 城郷出張所が建て替えを行い、菅田出張所と名称変更し、事務開始
	10 月	金沢区長沢 貯油所地下タンク爆発 負傷者2人 台風24号 倒壊家屋16棟 浸水家屋424棟 崖くずれ34箇所 神奈川区三ツ沢町 都市ガス爆発 全壊3棟 半壊2棟 一部壊44棟 負傷者8人 中瀬谷出張所事務開始(建て替え)
1982年(昭和57年)	11 月	港南区笹下 住宅火災 死者4人 負傷者1人
	1 月	「消防局消防出初式」が鶴見区大黒ふ頭で、市内14区(署)の 「消防出初式」が市内15会場において挙行された
	2 月	中区海岸通り大棧橋C号岸壁 船舶火災 負傷者9人
	4 月	横浜ヘリポート事務開始 十日市場出張所事務開始(建て替え) 釜利谷出張所事務開始(新設) 若葉台出張所事務開始(新設) 烏が丘出張所事務開始(新設)
	5 月	希望ヶ丘出張所が建て替えを行い、さちが丘出張所と名称変更し事務開始
	6 月	第15代局長 独古 哲世就任
	7 月	第7回神奈川県下消防救助技術指導会開催(消防訓練センター) 第11回消防救助技術関東地区指導会開催(消防訓練センター)

年	月	記 事
1983年(昭和58年)	8月	第11回全国消防救助技術大会開催(消防訓練センター) 台風10号 死者1人 負傷者3人 倒壊家屋106棟 浸水家屋2棟 崖くずれ12箇所
	9月	台風18号 死者1人 負傷者18人 倒壊家屋179棟 浸水家屋7,802棟 崖崩れ306箇所
	1月	昭和58年消防出初式が横浜ヘリポートで挙行された
	2月	消防音楽隊女子隊員の名称を「ポートエンジェルズ119」と市長が命名
	3月	昭和57年海外技術供出功労団体として横浜市消防局が外務大臣表彰を受けた 消防局屋上にヘリコプター2号機導入に伴う自動追尾装置の工事が完了
	4月	横浜市民防災センター完成 阿久和出張所事務開始(新設)
	5月	第16回消防漕艇技術大会開催(山下公園) 戸塚区和泉町 工場火災 負傷者34人 港北区綱島西五丁目 工場火災
	6月	東戸塚出張所事務開始(新設) 昭和58年横浜市消防救助技術大会開催(消防訓練センター) 洋光台出張所事務開始(新設)
	7月	第8回神奈川県下消防救助技術指導会開催(消防訓練センター)
	9月	消防救急50周年記念式典が行われる(市民防災センター) 六都県合同防災訓練実施「みなとみらい21」計画区域内
	10月	警防技術大会開催(消防訓練センター) 消防音楽隊 上海派遣 第2回神奈川県消防職員野球大会開催(横浜スタジアム)
1984年(昭和59年)	11月	大都市消防長会議開催(市民防災センター)
	1月	昭和59年消防出初式をみなとみらい計画区域において挙行
	2月	横浜市民消防感謝会を開催(横浜文化体育館)
	3月	横浜市危険物規制規則の全部改正 危険物規制事務処理規程の全部改正 芹が谷出張所事務開始(建て替え、下永谷出張所から移転)
	4月	横浜市消防職員剣道大会を開催(市民防災センター) 六浦出張所事務開始(建て替え、旧庁舎から移転) 山元町出張所事務開始(新設) 白山出張所事務開始(新設) 鴨志田出張所事務開始(新設)
	5月	第17回消防漕艇技術大会開催(山下公園)
	6月	消防救助技術大会開催(消防訓練センター) 水害対策総合訓練実施(緑区鴨居) 地震対策計画の改正が行われ、「地震対策消防計画」が施行された 第9回消防救助技術神奈川県指導会開催(消防訓練センター)

年	月	記 事
1985年(昭和60年)	9月	消防操法技術大会・基本技術の部開催(消防訓練センター)
	10月	家庭防災員制度発足15周年記念行事開催(防災センター) (有)日本消防協会主催 第9回全国消防操法大会(消防用)開催(消防訓練センター)
	11月	消防操法技術大会・ポンプ操法の部開催(消防訓練センター) 五大都市剣道大会開催(県立武道館)
	12月	第3回神奈川県下消防職員野球大会(横浜スタジアム)
	1月	昭和60年消防出初式をみなとみらい21計画区域内で挙行
	2月	横浜市民消防感謝会を開催(横浜文化体育館)
	3月	入船出張所事務開始(建て替え)
	4月	幸浦出張所事務開始(新設) 市沢出張所事務開始(新設) 西水上出張所が建て替えのため、鶴見水上出張所として事務開始(建て替え)
	5月	火災予防査察規程の全部改正 消防漕艇技術大会開催(山下公園)
	6月	横浜市水害対策合同訓練実施(鶴見区末吉町先) 機構改革により 1. 予防課に地域指導係を新設 2. 危険物の事務簡素化・合理化し3係のうち1係を削り統合した 3. 危険物担当主査を廃止し、指導担当主査を新設した
	7月	台風6号 負傷者2人一部壊66棟 床上浸水2棟 床下浸水18棟 横浜市消防救助技術大会開催(消防訓練センター)
	9月	6都県市合同防災訓練 消防局長、中国北京市の要請により訪問(8日間)
	10月	横浜市文書取扱規程全部改正 市民防災の日、200回記念のつどい開催(横浜スタジアム) 第1回全国婦人消防操法大会が消防訓練センターで行われた
	1986年(昭和61年)	11月
1月		昭和61年消防出初式をみなとみらい21計画区域内で挙行 消防艇「あけぼの」進水式
2月		横浜市民消防感謝会を開催(横浜文化体育館)
3月		北方出張所事務開始(建て替え) 磯子水上出張所事務開始(建て替え)
4月		佐江戸出張所事務開始(新築)
5月		消防漕艇技術訓練会(山下公園)
6月		横浜市消防局、消防署係設置規程の改正により 1. 消防訓練センター管理課の執務係が廃止された 2. 消防署庶務課に経理係が新設された
		横浜市水害対策合同訓練(港北区樽町二丁目先) 横浜市消防救助訓練指導会開催(消防訓練センター)

年	月	記 事
1987年(昭和62年)	7月	第11回県下消防救助訓練指導会開催(消防訓練センター) 保土ヶ谷区今井町 製作所塩素ガス・亜硫酸ガス漏洩事故 負傷者17人
	8月	6都県市合同防災訓練実施
	9月	南区睦町 配水管布設工事現場爆発事故 死者1人 負傷者3人
	10月	消防操法技術訓練会開催 第10回全国消防操法大会開催(消防訓練センター) 地震災害に見舞われた中米エルサルバドルに国際消防救助隊チームとして当局から4人派遣された 第2回全国婦人消防操法大会開催(消防訓練センター)
	1月	昭和62年消防局出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行
	2月	本陣出張所事務開始(増築) 末吉出張所事務開始(増築) 鶴見区市場西中町 工場出火 負傷者1人
	4月	消防指令センター建設、新消防通信施設に更新、運用開始 今宿出張所事務開始(新設) 横浜市消防局組織規則の一部改正により、消防職員についても一般職員と同様、階級の分化及びわかりやすい呼称などにした。専任主幹を担当理事、主幹を担当部長、主査を担当係長に改め、部次長、課長補佐、副主任制度が設けられた
	5月	第39回全国消防長会総会の開催(横浜文化体育館)
	6月	第16代局長 岩崎 森治就任 消防技術訓練指導会開催(消防訓練センター) 課の業務内容を明確に表すため「救助課」を「救急救助課」に改めた 戸塚消防署に栄区・泉区を担当する消防局担当課長及び担当係長を設置した 新たに情報管理業務を担当することになったため、「通信係」を「情報通信係」に改めた 横浜市水害対策合同訓練実施(緑区鴨居町先)
	7月	第12回神奈川県下救助技術指導会(消防訓練センター) 横浜・上海消防交流事業に伴い、上海市公安局から、崔 路氏以下4人の考察団が11日間にわたり、合意書に基づき交流を行った
	9月	6都県市合同防災訓練実施
	10月	鶴見消防署事務開始(建て替え) 消防操法技術訓練会(消防訓練センター)
	1988年(昭和63年)	1月
	4月	本郷出張所を増改築し、栄消防署として事務開始 中和田出張所を増改築し、泉消防署として事務開始 すすき野出張所事務開始(新設) 全国消防長会関東支部事務局が、川崎市から横浜市消防局総務課に移管された

年 月	記 事
6 月	神奈川県下消防救助技術指導会開催（消防訓練センター） 横浜・上海消防交流事業に基づき、当局から波多野総務部長以下4人が中国上海市公安局の招きにより訪問した
7 月	消防局組織機構の改正 1. 総務部総務課の再編 「企画課（企画係、消防対策係）」を「企画課担当係長（企画担当）、担当係長（調整担当）」に再編した 2. 予防部予防課の再編 地域指導係と広報係を統合し、広報普及係とした 3. 横浜ヘリポートの再編 管制科と航空科を統合し、航空管制科とした 4. 消防水利関係業務の統合 総務部企画課の再編に伴う、宅地開発に係る防災指導業務の移管等消防水利関係業務の統合を図るため、警防部警防課計画係の分担事務の整備を行うとともに、防災指導業務の移管という観点から計画係の組織名称を防災計画係とした 5. 横浜博覧会消防出張所の設置 消防救助技術関東地区指導会の開催（消防訓練センター）
8 月	中区本牧ふ頭シンボルタワー付近広場 コンサート中に興奮して過換気症候群になったもの 負傷者25人 大雨による被害 倒壊家屋3棟 浸水家屋26棟 崖崩れ8箇所
10 月	全国消防救助技術大会開催（消防訓練センター） 第11回全国消防操法大会支援（消防訓練センター） 第4回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）
1989年(平成元年)	2 月 西消防署博覧会消防出張所事務開始 神奈川区橋本町 船舶火災 死者10人 負傷者13人
4 月	金沢消防署能見台消防出張所事務開始（新築） 中区本牧埠頭 A 突堤2号バース 船舶火災
5 月	第17代局長 波多野誠一就任 消防局組織機構の改正 (1) 警防部の再編 災害調査課監察係を当直制の係（現場指揮第一係、現場指揮第二係）として警備課に位置付け、課及び係の組織名称をそれぞれ警防課警防係とした。 また警備課の防災計画係及び災害調査課の調査係を計画課（新設）に位置付け、それに伴い災害調査課は廃止した。 (2) 予防部指導是正指導担当係長の廃止 戸塚消防署大正消防出張所事務開始（建て替え）
7 月	県下消防救助技術指導会（消防訓練センター） 横浜国際都市防災会議の開催（横浜アリーナ他） 横浜防災システム展'89の開催（横浜アリーナ）

年	月	記 事
1990年(平成2年)	7月	横浜・上海消防交流事業に基づき、上海消防考察団団長 易 瑤 以下4名を10日間受入れ、消防技術交流を実施した。 大雨による被害 一部壊3棟 床上浸水303棟 床下浸水890棟 非住 家被害39棟 がけ崩れ13箇所
	8月	花火大会事故 山下公園前海上の船台で花火玉爆発 死者2人 負傷者7人
	9月	第5回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター) 緑区折本町 倉庫火災 負傷者1人
	10月	西消防署博覧会消防出張所閉所
	1月	平成2年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行
	3月	磯子区杉田五丁目 共同住宅出火 死者1人 負傷者2人
	4月	戸塚消防署深谷消防出張所事務開始(新築)
	8月	大雨による被害 床上浸水51棟 床下浸水46棟 非住家被害16棟
	9月	台風20号 一部壊13棟 床上浸水601棟 床下浸水734棟 非住家被 害382棟 がけ崩れ31箇所 道路不通51箇所
	9月	皇太子の行啓に伴う救助訓練の実施(消防訓練センター)
	10月	第12回全国消防操法大会支援(消防訓練センター) 第6回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)
1991年(平成3年)	11月	横浜・上海消防交流事業に基づき、波多野局長以下5名が中国上海市 公安局の招きにより訪問した
	1月	平成3年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行
	3月	消防防災シンポジウムの開催 戸塚区上矢部町 工場火災
	6月	第18代局長 小西治義就任
	6月	県下消防救助技術指導会(消防訓練センター)
	7月	神奈川消防署(総合庁舎)増改築工事竣工 中区本牧埠頭B突堤1号バース 船舶火災
	9月	横浜・上海消防友好交流事業に基づき、上海市から栄達人団長以下 5名の考察団が来局、10日間に渡り交流を行った。 横浜市救急救命士養成所の開設 台風18号 半壊1棟 一部壊22棟 床上浸水115棟 床下浸水157棟 非住家被害107棟 がけ崩れ45箇所
	10月	第7回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)
	11月	消防防災シンポジウムの開催 中区山下町 店舗火災
	12月	港北消防署小机消防出張所事務開始(新築)
	1992年(平成4年)	1月
4月		高規格救急車の導入
6月		県下消防救助技術指導会(消防訓練センター)
7月		大雨による被害 一部壊1棟 床上浸水1棟 床下浸水11棟 非住家 被害8棟 がけ崩れ1箇所 道路不通1箇所

年	月	記 事	
1993年(平成5年)	10月	第8回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター) 第13回全国消防操法大会支援(消防訓練センター)	
	11月	横浜・上海消防友好交流事業に基づき、小西局長以下5名が中国上海市の招きにより訪問した。	
	11月	消防防災シンポジウムの開催	
	1月	平成5年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行	
	2月	港北区新羽町 倉庫火災 泉消防署緑園消防出張所事務開始(新築)	
	4月	第19代局長 久留正海就任	
	5月	消防局組織機構改革 1 高齢化社会の進展等に伴う救急需要の増加等に対応した救急高度化事業の円滑な推進を図るため、救急課を新設。救急課に救急企画係及び救急指導係を設置し、救急救助課は廃止した。 2 救急救助課救助係を警防課救助係とした。	
	6月	第18回神奈川県下消防救助技術指導会(消防訓練センター)	
	7月	第22回消防救助技術関東地区指導会(消防訓練センター)	
	8月	「横浜市救急指導医制度」の運用開始 台風11号 負傷者1人 全壊1棟 一部壊8棟 床上浸水4棟 床下浸水4棟 非住家被害7棟 かけ崩れ18箇所	
	1994年(平成6年)	10月	第9回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)
11月		上海市防災救災考察団が消防局を視察 大雨による被害 一部壊4棟 床上浸水370棟 床下浸水301棟 非住家被害220棟 かけ崩れ14箇所 橋りょう欠損1箇所 河川決壊1箇所 磯子消防署杉田消防出張所事務開始(建替) 「市民防災の日」300回記念のつどい開催(横浜文化体育館)	
1月		平成6年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行	
3月		消防防災シンポジウムの開催	
4月		保土ヶ谷消防署権太坂消防出張所事務開始(新築)	
7月		消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した(鶴見、西、南、磯子、栄、瀬谷)。 第19回神奈川県下消防救助技術関東指導会(消防訓練センター) 消防救助技術関東地区指導会(消防訓練センター) 神奈川県消防操法大会(消防訓練センター)	
8月		第23回全国消防救助技術大会	
10月		第14回消防操法大会支援(消防訓練センター)	
11月		第10回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター) 神奈川県下消防職員野球大会(横浜スタジアム) 青葉消防署事務開始 都筑消防署事務開始	
1995年(平成7年)		1月	平成7年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙行

年	月	記	事
1996年(平成8年)	1月	阪神淡路大震災応援出場	
	4月	横浜駅異臭事故災害 負傷者100人 消防ヘリコプター「はまちどり 1」更新	
	6月	第20代局長 前川友三就任 消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した(神奈川、中、港南、保土ヶ谷、青葉、都筑)。 横浜市民防災センター展示施設の新装開館	
	9月	台風12号 負傷者3人 半壊1棟 一部壊62棟	
	10月	第11回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)	
	11月	中国遼寧省消防協会が消防局視察	
	1月	平成8年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行	
	4月	消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した(旭、金沢、港北、緑、戸塚、泉)。 上海市消防局幹部来局 特殊災害対応隊発足	
	5月	第48回全国消防長総会の開催(パシフィコ横浜)	
	7月	消防訓練センター創立20周年記念式典 栄消防署改修工事竣工記念式典	
	8月	第25回全国消防救助技術大会	
1997年(平成9年)	10月	横浜市消防団員市長表彰式(パシフィコ横浜) 第12回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター) 第15回消防操法大会支援(消防訓練センター)	
	1月	平成9年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行	
	2月	西消防署境之谷消防出張所事務開始(建て替え)	
	4月	第21代局長 西村 浩就任 救助機動中隊発足 消防ヘリコプター「はまちどり 2」更新	
	5月	青葉消防署荏田消防出張所事務開始(新築)	
	6月	台風7号 負傷者6人 一部壊27棟 非住家一部壊5棟 道路不通1箇所 鉄道不通1箇所 停電4,540戸	
	7月	東京湾油流出事故	
	8月	第26回全国消防救助技術大会 横浜・上海市消防技術交流	
	10月	全国消防長会関東支部常任理事会 第13回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)	
	1998年(平成10年)	1月	平成10年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
3月		暴風 重傷2人 軽傷13人 一部破損3棟 非住家全壊1棟	
7月		大雨・洪水 一部破損3棟 床上浸水90棟 床下浸水171棟	
8月		第27回全国消防救助技術大会	

年 月	記 事
1999年(平成11年)	9 月 台風5号 軽傷1人 一部破損1棟 床上浸水3棟
	10 月 第16回全国消防操法大会支援(消防訓練センター)
	11 月 横浜・上海市消防技術交流
	1 月 平成11年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
	4 月 中消防署本牧和田出張所事務開始(新築)
	5 月 鶴見区鶴見中央五丁目 建物火災 死者7人
	6 月 第24回神奈川県下消防救助技術指導会(消防訓練センター)
	7 月 第28回消防救助技術関東地区指導会(消防訓練センター)
	8 月 第28回全国消防救助技術大会(消防訓練センター)
	緑区白山三丁目 アセチレンボンベ爆発 負傷者10人
2000年(平成12年)	10 月 第14回全国婦人消防操法大会支援(消防訓練センター)
	1 月 平成12年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
	3 月 都筑消防署仲町台出張所事務開始(新築)
	4 月 消防局組織機構改革
	1 総務部警防課の再編 現場指揮第一係と現場指揮第二係を統合し、現場指揮係を設置した。
2 訓練センター研究開発課の再編 研究係と開発係を統合し、研究開発係を設置した。	
8 月 第29回全国消防救助技術大会(熊本市荒尾町1244番地・多目的広場)	
2001年(平成13年)	10 月 第17回全国消防操法大会支援(消防訓練センター)
	1 月 平成13年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
	4 月 第22代局長 河内輝雄就任
	消防局組織機構改革
	1 総務部総務課の再編 総務課に消防団係を設置し、事故処理担当係長を廃止した。
2 横浜市民防災センター副所長の廃止	
中区錦町 複合用途建物火災 死者3人負傷者1人	
8 月 第30回全国消防救助大会(東京消防庁豊洲訓練場・辰巳国際水泳場)	
10 月 第15回全国女性消防操法大会支援(消防訓練センター)	
2002年(平成14年)	12 月 港南区大久保三丁目 養護老人ホーム火災 負傷者20名
	1 月 平成14年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
	3 月 中区伊勢佐木町 複合用途建物火災 負傷者20人
	中区山下町 飲食店舗火災 負傷者1人
	5 月 2002FIFAワールドカップ消防特別警備実施
	7 月 台風7号 一部破損1棟、床上浸水8棟、床下浸水41棟、非住家被害34件、鉄道不通1箇所、その他の被害22箇所
	8 月 第31回全国消防救助技術大会(名古屋市消防学校)
戸塚区戸塚町 共同住宅火災 負傷者10人	

年	月	記 事
2003年(平成15年)	10月	第18回全国消防操法大会支援(消防訓練センター)
	1月	平成15年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行
	4月	消防局組織機構改革 1 予防部及び消防署予防課の再編 (1) 消防法令の改正に基づく新たな点検制度の普及や法令違反の是正強化等を図るため、査察係と査察企画係からなる査察課を設置した。 (2) 予防部危険物課の廃止 (3) 予防部指導課の再編 指導課指導係の発展的な廃止。危険物課の廃止に伴い、指導課内に危険物係を設置し、許認可等の指導業務を統一的に処理する体制とした。 (4) 消防署予防課の再編 予防部の再編に合わせ、消防署予防課を4係(予防係・査察係・危険物係・消防設備係)から3係(予防係・査察係・指導係)に再編した。 2 総務部企画課及び警防部指令課の再編 企画課担当係長(調整担当)を企画課担当係長(情報担当)に、指令課情報通信係を指令課システム管理係に変更した。 3 予防部指導課消防設備担当課長、総務部人事課担当係長(職員担当)、警防部指令課担当係長(システム管理担当、指令管制担当)を機構化した。
	5月	磯子区新磯子町 工場火災 負傷者1人
	6月	第28回神奈川県下消防救助技術指導会(消防訓練センター)
	7月	第32回消防救助技術関東地区指導会(消防訓練センター)
	8月	第32回全国消防救助技術大会(仙台市泉総合運動場)
	10月	第16回全国女性消防操法大会支援(消防訓練センター)
	11月	横浜救急70周年記念式典
	2004年(平成16年)	1月
4月		消防局組織機構改革 1 総務部企画課担当係長(改革推進担当)の設置 2 警防部指令課担当係長(システム管理担当)の廃止
8月		横浜救助40周年記念シンポジウム 「横浜救助40周年の軌跡」(横浜シンポジア)
		第33回全国救助技術大会(兵庫県立広域防災センター)
11月		第19回全国消防操法大会支援(横浜国際総合競技場)
2005年(平成17年)	4月	第23代局長 橘川和夫就任 消防局組織機構改革 1 横浜ヘリポート整備科担当係長の設置 2 横浜ヘリポート航空管制科担当係長の廃止
	7月	市内震度5弱の地震発生

年	月	記 事
2006年(平成18年)	7 月	鶴見区生麦 住宅火災 死者3人
	8 月	第34回全国消防救助技術大会 (陸上：岩槻文化公園・水上：県営大宮公園水泳場)
	10 月	第17回全国女性消防操法大会支援 (消防訓練センター)
	4 月	局再編成により安全管理局を設置 (消防の持つ機動力と総務局所管の危機管理機能、市民局所管の防犯支援機能を一体化させ、大都市横浜における市民生活の安全確保を総合的に取り組む局となり、局の名称を横浜市消防局から横浜市安全管理局に変更した。) 安全管理局組織機構改革 (1) 危機管理担当理事の新設 (2) 危機管理室の新設 危機管理室を設置し、旧総務局が所管する「危機管理に係る計画及び総合調整」等の業務を継承し、所管した。 また、危機管理室内に担当課長(5人)を新設した。 (3) 地域安全支援課の新設 予防部内に新たに地域安全支援課を設置し、旧市民局所管の「防犯対策の企画及び連絡調整」等の業務と、旧総務局所管の「地域防災活動の支援」等の業務を所管するとともに、子どもの安全対策を推進する担当課長を新設した。 (4) 指令課担当課長の新設 夜間・休日を含めた危機管理体制の一層の強化を図るため、指令課に担当課長(2人)を配置し、課長級による当直体制とした。 (5) 管理課と研究開発課の統合、指導課設備担当課長の廃止 管理課と研究開発課を統合して管理・研究課を設置するとともに、指導課設備担当課長を廃止した。 (6) 教育課担当係長(救急救命士等養成担当)の新設 救急業務の高度化(救急救命士の処置範囲の拡大等)に伴う、救急関連教育の専門化・高度化に対応するため、教育課に担当係長(救急救命士等養成担当)を新設した。 (7) 音楽隊の組織上の位置づけ変更 音楽隊を総務課の係として位置づけた。 (8) 計画課防災計画係の係名称変更 計画課「防災計画係」の係名称を「計画係」に変更した。
	6 月	「全国消防長会 第58回 総会」及び「ヨコハマ セーフティーフェア 06」の開催 (パシフィコ横浜) 第31回 神奈川県消防救助技術指導会 (消防訓練センター)
	7 月	第35回 消防救助技術関東地区指導会 (消防訓練センター)
	8 月	第35回 全国消防救助技術大会 (陸上：札幌市消防学校・水上：札幌市平岸プール)
	10 月	「横浜市子どもの安全の日」制定 (毎月1日・10日)

年 月	記 事
2007年(平成19年) 11 月 4 月 8 月 10 月	<p>緊急対策チーム創設</p> <p>都筑消防署北山田消防出張所事務開始（新築）</p> <p>都筑消防署勝田消防出張所廃止</p> <p>安全管理局機構改革</p> <p>(1) 消防署の部長級事務所への昇格 大規模災害などの危機発生時における組織対応力の強化を図るため昇格した。</p> <p>(2) 消防署長・副署長の区役所 安全管理担当の兼務 大規模災害などの危機発生時、夜間・休日に区役所の体制が整うまでの間、消防署が初期対応を担うとともに、平常時においても区との知識や情報の共有化を図っていくため兼務した。</p> <p>(3) 危機管理室担当係長（区役所危機管理担当係長兼務）の新設 区役所の危機管理機能を強化するため、危機管理室に担当係長を新設した。</p> <p>(4) 名称変更及び事務移管を実施</p> <p>ア 予防部予防課の係名称変更及び事務移管 広報・広聴については、局全体の事務事業を把握した部署が統括する必要があるため、総務部企画課に事務を移管するとともに、「予防課広報普及係」を「予防課普及係」に改称し、普及啓発についてさらに積極的に取り組むこととした。</p> <p>イ 消防署の広聴に関する事務移管 消防署の事務の実態を踏まえ、消防署の広聴に関する事務を予防課予防係から庶務課庶務係へ移管した。</p> <p>ウ 警防部指令課の課及び係の名称変更 消防隊等の管制、運用等を実施し、必要に応じて災害出場した消防隊等に対し指揮・命令を司る課となったため、「指令課」の課名称を「司令課」に変更し、係名称にあっても「指令第一係、指令第二係」を「司令第一係、司令第二係」に、「指令管制担当」を「司令管制担当」に変更した。</p> <p>磯子区滝頭二丁目、久木町 連続マーケット火災</p> <p>第36回 全国消防救助技術大会 (陸上：東京消防庁 夢の島消防訓練場・水上：辰巳国際水泳場)</p> <p>「横浜市子どもの安全の日」啓発イベント（みなとみらい21地区46街区）</p> <p>第18回 全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）</p>

(企画課・総務課・計画課)